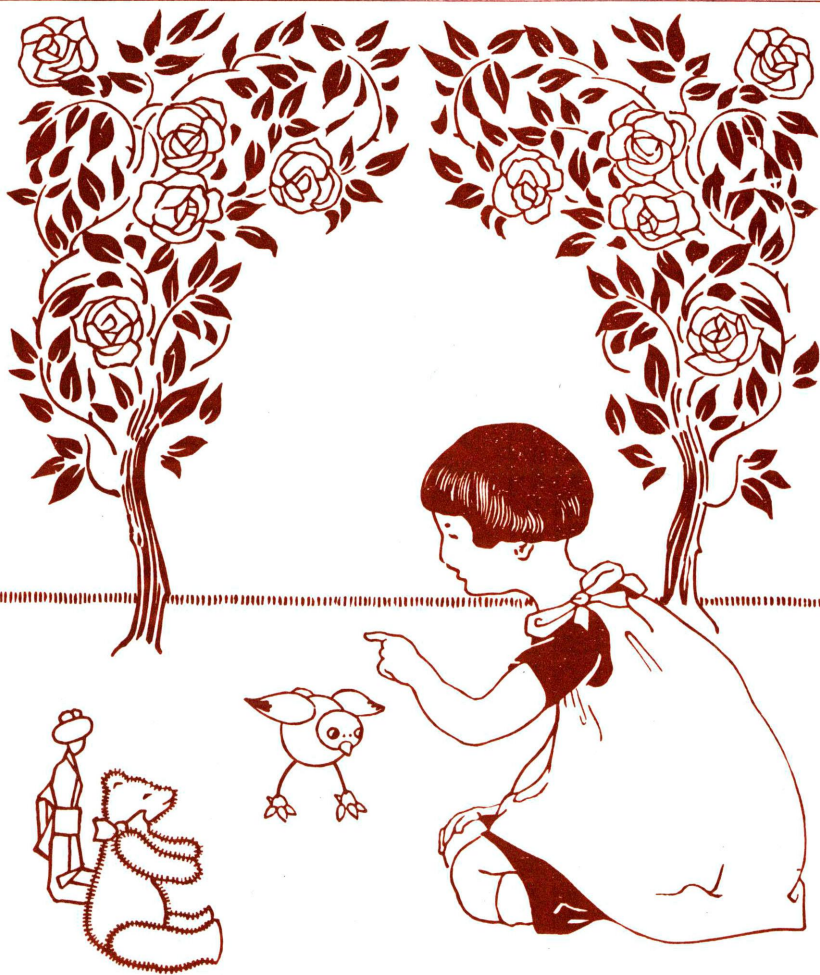


幼の教育

第二十七卷 十二月號 第十號



東京女子高等師範學校內
日本幼稚園協會

◀ 好評絶大 ▶

濱田廣介先生著 初山滋先生畫

美裝 菊判 各送料十錢
定價壹圓八十錢

ひろすけ 童話讀本

第一集(九版)

第二集(八版)

第三集(五版)

鳥崎藤村先生曰く——(前略)どんな好いお話がこの本の中から出てくるでせう。眺めても眺めても飽きない青い蟬のやうな子供の世界のことが、もつとお知りになりたくば、濱田小父さんのお話へお出てください。

中村星湖先生曰く——今の童話作家のうちで、誰のが一番すぐれてゐるかとは問はれたなら、躊躇なく答へる、それは濱田廣介君の童話だと。彼の童話を讀めば解る。(中略)あの寫實的で同時に象徴的な廣介童話のうまさと美しさ、廣介君の童話のやうなのは、普通の小説なみに、といふよりは、普通の小説以上に、世間が取扱ふことを希望する。

東京東座口替振
番三五四院書教文株式社
牛込元町

望月クニ、田中銀之助著 二 四六倍版総クロース金文字入
定價金貳圓五拾錢、送料拾貳錢

幼稚園、小學校
家庭に於ける

創作唱歌と遊戯

小學校の初年級、幼稚園等に課すべき、眞に兒童の實生活を、考慮して作られた唱歌遊戯の教材がなくて困るといふ事は、わが教育界至る處に於て常に耳にする聲である。此の時に當り、かの幼兒教育の元老であり、權威である望月女史、並に初等、中等教育界に於ける作曲の權威田中先生は、其の滔々盡くることなき、日頃の蘊蓄を傾け、心血を注いで、本書を上梓し、之を世に公にし、以て現下教育界の要望に添ひ、初等教育、幼兒保育の上に一大福音を齎せられたのである。

本書の内容及特色

一、幼童の心的生活を基礎とし、情操陶冶の實を擧ぐるに最も適切なる内容を有す。
二、右の見地よりして、特に作曲に意を用ひ、兒童の音域、並に音樂的趣味の程度、歌謠能力等を考察し、しかも曲趣深遠にして永久兒童の腦裏を去らざる、最も意義あるものとして作曲せられたり。

三、曲には悉く平易にして趣味深き伴奏を附す。
四、遊戯しつゝ唱歌を歌ひ、歌ひつゝ遊戯をなすを主體とせるも、亦遊戯を離れ單に唱歌として唱ふる事を得る様にも仕組まれたり。
五、平常の教科とくは勿論學藝會、唱歌會等に演奏せしむる材料豊富。

尙附録として
1、平常の授業並に運動會に出演すべき運動教材、遊戯教材等を掲載せり。
2、著者の創作並に創作ならざる歌曲にして家庭材料幼稚園小學校教材として最も適切なるもの二十餘種を掲載せり。

發行所

神戸市下山手通六丁目三六番
振替口座大阪八〇六八五番

保 育 研 究 會



育教の兒幼輯編會協園稚幼本日

會長 東京女子高等師範學校長 吉岡郷甫

主幹 東京女子高等師範學校教授 堀七藏

贊助員

東京高師教授 巖谷秀雄

乙竹岩造

東洋大學教授

高島平三郎

東京帝大醫科講師 醫博 太田孝之

太田孝之

東京府女子師範學校長

龍山義亮

東京高師教授 文博 大瀨甚太郎

大瀨甚太郎

帝國教育會理事

野口援太郎

慶應大學教授 醫博 唐澤光德

唐澤光德

松江高等學校長

乘杉嘉壽

早蕨幼稚園長 岸邊福雄

岸邊福雄

京都帝大教授

野上俊夫

帝國教育會會長 文博 澤柳政太郎

澤柳政太郎

東京女子高師教授

倉橋惣三

東京高師教授 文博 佐々木秀一

佐々木秀一

東京帝大教授

松本亦太郎

東京女子高師教授 文博 菅原教造

菅原教造

奈良女子高師校長

榎山榮次

東京女子高師教授 醫、文博 富士川游

富士川游

奈良女高師附屬幼稚園主事

三田谷啓

東京市教育局長 藤井利譽

藤井利譽

東京帝大教授

湯原元一

東京女子高師講師 文博 藤五代策

藤五代策

東京帝大教授

吉田熊次

文部省 文博 谷本富

福士末之助

東京女子大學長

安井哲子

東京女子高師校長 文博 安井哲子

安井哲子

東京女子大學長

安井哲子

東京女子高師校長 文博 安井哲子

安井哲子

東京女子大學長

安井哲子

東京女子高師校長 文博 安井哲子

安井哲子

東京女子大學長

安井哲子





第 一 十 第 育 教 の 兒 幼 卷 七 十 二 第

口 繪	マクミラン女史 紀念室	
私の視察した歐米の幼稚園教育(七)	堀	七 藏……二頁
幼兒と清潔の習慣	青木 醇	一……二一頁
幼稚園の懷舊を辿りて(五)	望月くに子	二……二七頁
十二月の幼兒生活	卜 部 た み	三……三八頁
童謡遊戲について	戸 倉 ハ ル	四……四五頁
私の幼稚園——猫の卷	水島さゆり	四……四九頁
園兒の體育	宮 田 覺 造	五……五四頁
コスモス日和	小 石	五……五八頁
赤い帽子	A B C	六……六二頁
聯合保育會に出席して	大塚 喜 一	六……六五頁
雜 錄		六……六七頁

最新刊

文學士 倉橋惣三氏序
日本幼稚園協會編纂

本田庄太郎畫伯
裝幀及挿畫

幼兒の樂しむお話

東京市日本橋區大傳馬町二丁目

内田老鶴圃

振替東京二二一四六番
電話浪花一三三五番

◆◆◆四六版特製函入
◆定數四〇〇餘頁
◆紙價金二圓八十錢
◆送料金十八錢

子供はお話を聞きながら。親も先生もお話をしてやりたい。しかし材料がない。無いのでは選ばれてゐない。實際選擇せられざるお話は大切な子供の前へ持ち出せないものである。その選ばれたお話の集が此の書である。誰れが選んだか、東京女子高等師範學校の附屬幼稚園で幼兒達自身が選んだのである。即ち同園で日々話される多くのお話の中で幼兒の最も樂しむお話を集められたのである。現に幼兒の樂しんだお話をすべつての家庭と幼稚園とへ一番確實に奨めることの出来るお話である。小さいお子さんは此儘讀んで樂しませて貰へる。大きいお子さんは自ら讀んで樂しむことが出来る。いづれにしても廣く家庭と幼稚園と小學校には是非共備へられなければならぬ物である。

倉橋惣三先生序
日本幼稚園協會編

幼兒に聽かせるお話

四六版特製本
紙數六二〇頁
定價三圓八十錢
送料十八錢

文學士 倉橋惣三氏著

幼稚園雜草

四六版上製本
紙數五二〇頁
定價二圓五十錢
送料十八錢

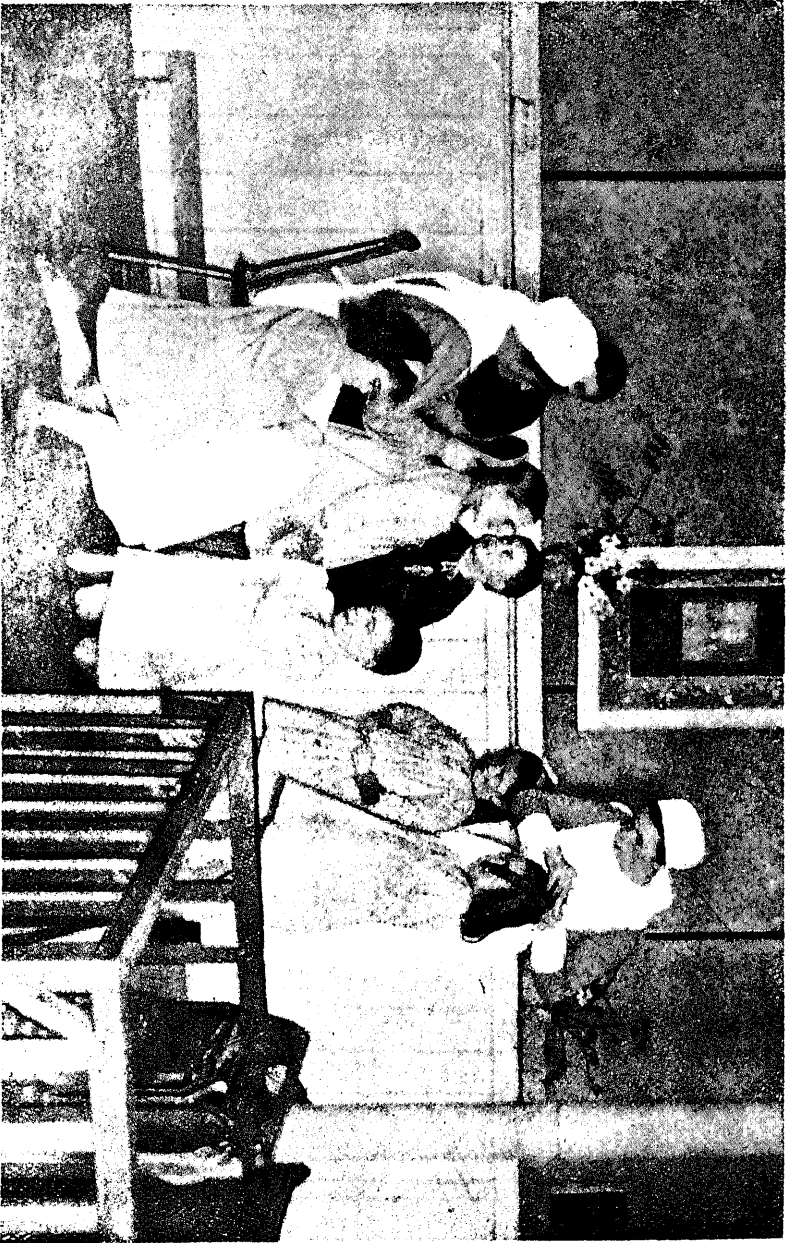
萬國幼稚園協會案
日本幼稚園協會譯
倉橋惣三先生序

幼稚園保育要目

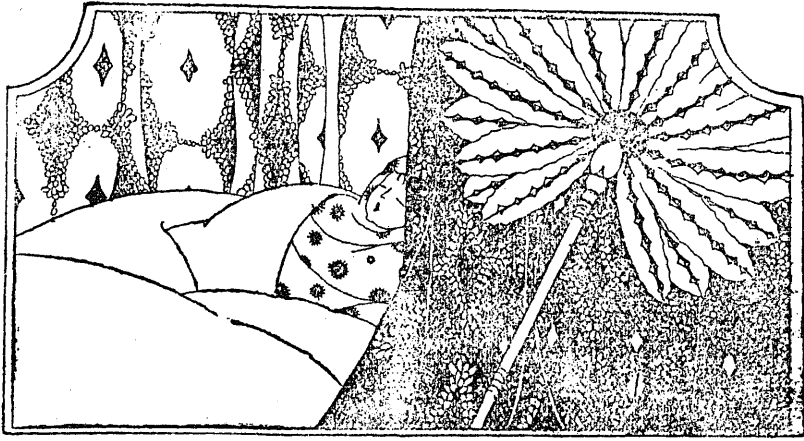
菊版上製函入
高雅なる裝幀
定價一圓五十錢
送料十八錢



史 女 ン ラ ミ ク マ



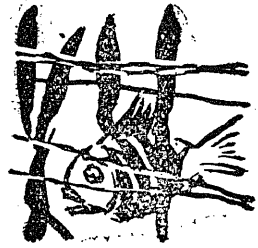
室念紀校學育保の史女ソラミクマ



號一十第 育 教 の 兒 幼 卷七十二第

月二十年二和昭

- 一、教育で家庭教育位重要なものはありません。家庭教育の良否は實に人一生を支配し國家の發展を左右するのであります。最近の學術は益々家庭教育の重大なる使命を立證し近時の社會現象は善良なる家庭教育の必要を痛感せしめてゐます。
- 一、家庭教育の短を補ひ幼兒の心身を充分に發達せしめ將來受くべき學校教育の基礎を築くものは幼稚園教育であります。幼稚園教育の重視すべきことは天下一人も異議がないのであります。
- 一、幼兒の教育は本邦唯一の幼稚園教育に關する發表機關であります。而してまた本邦唯一の家庭教育雜誌であります。
- 一、幼兒の教育は幼兒の教育、即ち家庭に於ける教育と幼稚園に於ける教育、更に小學校初學年教育に關する事項は細大となく網羅し、以て家庭教育の向上を計り、幼稚園教育の進歩發展を期する大抱負をもつて産れたもので有ります。



私の視察した歐米の幼稚園教育 (七)

堀 七 藏

四、保育學校の建物

保育學校の建物は單純に保育學校となすか更に嬰兒の保健事業を附加するかによつて異なる。また母親の學校を兼ねるか、小學校と連絡するかによつても異なるので一樣に述べることは困難であるといふのであります。それは誠に當然のことでありませう。しかし左の事項は保育學校の建物に關し是非考へねばならぬことであります。

(1) 敷地 建物の外に幼兒の自由にとびまはり得る空地が是非必要で、若しこの空地がない保育學校ならば保育學校の目的を半分も達成することが出来ないからであります。

(2) 建物 (イ) マーガレット・マクミラン女史がロンドン デプトフォードに於て實驗せるところのオープンエアタイプの建物がよい。それは自然と密接に關係を保つことが出来、幼兒の發達に重大なる好結果

を來すものであるからであります。勿論建物は南向又は南東向であることが至極肝要であります。成るべくよく午前中日光を射入させる工夫が肝要で、各室共に南向となし各室の南北の戸が地上より普通の窓の高さまであくやうにせねばならぬと申します。これは我が國の椽側と障子との關係のやうにするとして日射量の少い英國などでは甚だ望ましいことに相違ありません。

(ロ) 建物は單純で親しみを感ずるやうな建築様式で、父母も幼児も喜ぶやうな氣持のよい建物でなくてはならぬと申します。

(ハ) 建物の内部は適當な室温を保つやうに煖室法を工夫せねばならぬことは保育學校に於て一層必要であると申します。それは年少な幼児が室内で活動するのであるから、危険がなく床上が適當にあたゝまつてゐる必要があることは申すまでもありません。従つて成るべく保育室の床下にスチームパイプがある方がよいのであります。普通の室の如くストーブの不適當なことは申すまでもなく、スチームでも床上三四尺もあるのでは幼少な幼児、床上で活動する幼児の室を煖むるに適しないからであります。それで床の溫度が華氏の六十五度から七十度、室内の溫度は五十六度から六十度が適當だといふのであります。この保育學校の煖室方法は我が國の幼稚園などでも参考とせねばなりません。家庭が疊であるからよいのであります。西洋間になつてゐる子供室とか幼稚園の保育室では兎角床の溫度がひくいのであります。ストーブでも火鉢でも皆室内の空氣を高いところだけ煖めて、幼児のゐる低いところを煖め難いか

らてあります。

(3) 間取 保育學校には (イ) 大きな遊戯室、少くとも二〇呎に四十呎以上の室が必要である。之を二室に分ち二三歳兒と四五歳兒とに分ちて遊ばしめる。勿論南向でなくてはならぬ。といふのであります。茲に注意いたしますのはこの保育學校は幼兒四十人を標準としてゐること、及び保育室が遊戯室で、我が國の幼稚園の如く保育室と遊戯室とを分割しての間取ではありません。保育學校では保育室が遊戯室であるべきものであることを前提として考へてゐるのであります。

(ロ) 睡眠室。これは必ずしも南向を必要としないのであります。

(ハ) 小さな室。十呎四方又は十二呎四方位の小さな室が一室必要である。これは二三人の幼兒が靜かにしてゐる室であります。

(ニ) 小さな臺所。食器を洗ふ所、食物の置場を兼ねて幼兒の食物を簡單にこしらへるに足る室が必要であります。

(ホ) 教師の食堂並に休息室。歐米の學校幼稚園には教員室のないのが普通であります。教師が集つて食事する室、休息し喫煙談話などする室が必要であるからであります。

(ヘ) 親達との面會室。我が國の小學校幼稚園などには應接室がありますが、英國の保育學校では應接室といふものよりも母親との面會室が必要であるといふのであります。

(ト)、受付室。この室は幼児の受付をなす室で、日當よく洗濯器を備付けることが必要であるといふのであります。これも幼児本位の室であります。我が國小學校幼稚園の昇降口に相當するのであります。こゝで毎朝幼児の受付をなし、検査をなす室で非常に重要な場所とする譯であります。

(チ)、外套室。十二呎又は十五呎四方の室で、幼児の分と教師の分とを必要とするのであります。英國で外套室といへば防寒用の外套を置く室で、我が國の携帶品室のやうに雨具置場になるのとは大分異なるのであります。我が國のやうに雨量が多くないから、外套は雨具ではないのであります。主として防寒具であります。

(リ)、便所。これは教師用と幼児用とを別々にし、幼児用のものは成るべく遊戯室、受付室、睡眠室に接近することを必要となすのであります。

尚ほ間取の關係については教師室は建物の一方よりも中央に近いこと、臺所は幼児の食事する室、即ち遊戯室の一と教師室とに近きこと、隔離室となる小さな室は教師室に近きこと等の條件を満足するやうに間取を考慮せねばならぬのであります。

(4) 花壇 保育學校では甚だ廣い花壇を必要とせぬ。しかし作業が出来、苗床があり、樹木があり、また芝生の所がなくてはならぬのであります。しかし保育學校の必要な都會地では花壇をつくることが多くは困難であります。かゝる所では止むを得ないから屋上庭園だけなりとつくる必要であります。

す。若し公園が半哩位の所にあれば保育學校はその公園の中に設ける方がよいのであります。

五、保育學校の設備

(1) 取付設備としてイ、ホットウォターの出る装置が必要ですから、冷水温湯のパイプを敷設する方がよいのであります。

(ロ)、受付室に取付ける設備としては四十人の幼児に六個の洗滌器が必要です。洗滌器の高さは十六時から二十吋位とし、幼児が使ふに便なるやうにせねばなりません。また二個の浴槽と幼児のタオル掛が必要です。浴槽は幼児用のものでよく、タオル掛の半分は三十吋の高さ、半分は三十六吋の高で、六吋置にかけられるやうになすのが便宜であるといふのであります。

(ハ)、衛生設備。便所は適當に考案し、三歳より六歳までの幼児三十人に對し四個以上の設備が必要です。各便所は三・五呎から四呎の高さの仕切をなすのであります。そしてよく水で流し得るやうになすことは勿論で、坐高は六―八吋、内徑は七―九吋であるがよいのであります。

(ニ)、外套室の懸釘は受付室のタオル掛と同高で、十二吋置がよいのであります。各幼児の着物が接觸しないことが肝要であります。また便所と別の外套室では洗滌器が教師用として必要であります。

(ホ)、親達を集合させる必要がありますから電燈を取付けて置く方がよいのであります。

(ヘ)、固定した戸棚を取付ける必要があります。臺所には食料、食器、洗滌道具に別々の戸棚が必要で

あります。受付室にはタオル、着物を入れるもの、遊戯室には玩具、遊戯道具を入れるもの、睡眠室には幼児用の毛布・枕を入れる爲めに柵組の戸棚が必要です。

(1)、日覆 睡眠室には室内を暗くする爲の日覆が必要です。しかし他の室には一切入用ではありません。これは英國の如き緯度の高い日射の弱い所の話であることを注意して考へる必要があります。

(2) 裝飾 壁色は黄色がよい。黄色は幼児の保育室に明い感じを與へるからであります。壁の他は柔いピンク色がよいのであります。腰羽目は青色で洗滌し得るペイント、その上が純黄色又はクリーム色にするがよい。しかし柔い灰色の壁もよいのであります。或は空色の壁で保姆の服も空色といふ方もよいといふのであります。床はホルクリノリウムで壁色と調和することが肝要であります。これは英國での話であります。我が國では氣候も英國に比べて著しく異りいろいろの理由がありますから相當に考量すべきことは申すまでもありません。

(3) 器具、玩具、移動し得る什器について保育學校として必要なものを列擧することも參考となりませう。

(イ)、受付室、各幼児に石鹼、フランネル、齒磨、刷毛等を入れる容器をして幼児が見分け得るやうな文字又は繪の名前をつけて置く。

助手用の椅子、二歳児のためのあまる椅子十二脚、普通の幼児用椅子二三脚。

戸棚は浴用タオル、顔拭用タオル、雑巾、お茶時のクロス、テーブルかけを納め置くもの。
消毒用戸棚をも備付ける。

(ロ)、外套室、短靴長靴を入れる棚を備付ける。

(ハ)、遊戯室(保育室)各幼児のテーブル室でありますから二人がけの小さな軽いテーブル、食卓テーブル、真直なよりかゝりのある小さな腰掛八吋、十吋、十二吋の三種を要するのであります。勿論その他に保姆並に親達のために大人用の腰掛が若干必要であります。

樂器、ピアノ又は金屬弦器が必要であります。

戸棚・選定せる玩具、積木、繪本等を入れるもの、人形の家、料理臺、幼児の牛乳コップなどを入れるものが必要であります。

繪、名畫を選定することが必要であります。

臺、鉢植、草花をさした瓶などを載せる臺が必要であります。

(ニ)、睡眠室、各幼児に軽い疊み寢臺、毛布、枕、カバーを必要とする。

それ／＼名前をつけて置く必要があります。

一個の椅子と小さなテーブルも必要であります。

(ホ)、保姆、助手の室 安樂椅子、寢椅子、食卓、書寫臺、普通の椅子

(ハ)、臺所 普通臺所の器物、食器洗場、食器洗場、晝食時に幼児並に保母のものをつくるに必要な、またお茶時に大人のために必要な食器、鍋類が必要であります、食物置場。

(ト)、隔離室 長寢臺、幼児用テーブル、幼児腰掛二三脚、小戸棚、應急手當の用具
以上は幼児四十人を收容する保育學校としての設備の主要であります。

大體英國の幼稚園教育の情況を説明いたしましたから歐羅巴大陸の幼稚園教育に移りませう。しかし茲に英國の幼稚園教育とは直接關係がありませんが二三説明して置きたい事項がありますからそれを説明いたします。

一

第一には英國の幼稚園數について説明いたします。以上説明した所で大體明白になつたと思ひますがロンドンで申しますと私立の幼稚園と私立の保育學校に對してロンドンカウンティカウンシルの幼稚學校がありましてロンドンの幼稚園教育が行はれてゐます。ロンドン居住者にして貴族富豪などでは家庭にナースを雇入れて幼児の教育を一切任せるといふ階級の人々があります。是等のナースは看護婦であり家庭教師であり立派な教養を受け一定の資格を有するものであります。従つて我が國の上流社會に於ける乳母とか家庭教師とか看護婦とか稱するものよりも適任者であります。何しろ幼児教育を擔當し保育するに適當な教養をなしロンドンの資格試験を受けて合格したものが家庭住込みて一切幼児の教育

を責任を以て行ふのでありますから行届いてゐる譯であります。

次に家庭にナースを雇入れるだけのことは出来ないから私立の幼稚園に入れて一定の幼稚園教育を受けさせる家庭が少くありません。これは保育料を仕拂はねばなりません、それ以上の教育的効果を認め他方に於ては母親が他の仕事をなし得ることを考量してゐる家庭が幼児を教育するためにとつてゐる方法であります。従つて我が國の幼稚園に幼児を入園させてゐる親達と同様の考を持つてゐるものでありませう。

第三には貧民の家庭にて幼児を放任してゐることが甚だ教育的でないといふことから特に出來た保育學校があります。これは我が國の托兒所よりも一層立派なものであつて、單に子供を集めて預つてゐるといふ單純なものではありません。それ等の詳細は説明いたしましたこととありますから茲に繰返す必要がありません。

只英國は滿五歳より義務教育を施してゐる關係、我が國の幼稚園に相當する所謂幼稚學校がロンドンカウンティ、カウンシルには甚だ多いのであります。これはロンドンカウンティの學校でありますから統計があり明白でありますので茲に一九二四年の統計をお目にかけることが出來ます。ロンドン市にある小學校が九六一校その内カウンシルの學校が六〇五校、補助の學校が三五六校、そしてカウンシルの學校には一六一一の部があつて男子部が四八四、女子部が四八二、男女共學が一〇二、幼稚部が五〇三、併

合せるものが四〇。補助の學校には七三六部その内、二〇一が男子部、一四九が女子部、男女共學が三九、幼稚部が一九一、併合せるものが一三六あります。それで合計すると

男子部 六八五、 女子部 六三一

男女共學 一四一 幼稚部 六九四 併合せるもの一七六あります。以て幼稚部が甚だ

多いことが分りませう。

更にエデンバラ市の教育統計を見ますと

三の幼稚學校 九六二人 七十三の小學校 五、九〇〇三人

二の工業、商業學校 一五三二人 二の中間學校 一五八九人

八の中等學校 九二四八人 七の特殊學校 八三二人

總計學校數が九十五校、生徒數七萬三千百六十六人であります。之を更に年齢別に見ると

	五歳以下	5—6	6—7	7—9	9—12	21—13	13—14	14—15
幼児	252	5946	4300	2989	92	1		
低學年		6	119	6197	5612	102	22	5
中學年					11739	4576	2109	374
高學年					57	651	1967	699

特殊學校又學校	14	37	29	150	374	126	120	64
---------	----	----	----	-----	-----	-----	-----	----

右の表を見ると五歳以下の幼児は二六六人、五歳より六歳のものが五九八九人、六歳より七歳のものが四四八八人あります。これが人口僅かに三十五萬のエヂンバラ市のことであるから幼児教育の盛なことが想像出来ませう。總じて英國には中等教育以上に力を注ぐよりも小學校又はそれ以下の幼児教育に一層力を注いでゐるやうであります。これは我が國などでも大に考量すべき點でありませう。教育といへば小學校以上を考へるのは基礎を十分にせずして徒らに立派な建築をなすやうなものであります。小學校以下の時代に於て幼児の心身が十分なる發達をなさず幼児の品性習慣を等閑にして置き不確實なる基礎の上に教育を施すもので甚だ面白くないことは明白でありませう。

二

第二に幼児の健康増進の工夫や方法が大に講究せられてゐることであります。我が國は多産の國で多死の國であることは統計で明白であります。茲に大正十四年の死亡者年齢別の統計を見ませうか。

零歳	一六〇、三一	千分比例	二四五・三
一歳	四一、七二六	實數	六七・八
二歳	二〇、三五八	千分比例	三三・八
		實數	二四二、四一六
		千分比例	三八一・一

三歲	一二、三四三	二〇・九	
四歲	七、六七八	一三・三	
五歲	九	二六・四	二五、七六三
一〇歲	一四	一〇、二三二	四六・四
一五歲	一九	二二、三二三	二五、七六三
二〇歲	二四	二二、三四六	四一・五
二五歲	二九	一七、六七三	四一・三
三〇歲	三四	一四、二一三	三二、八四〇
三五歲	三九	一四、八八〇	五五・一
四〇歲	四四	一七、九六〇	
四五歲	四九	二二、四二〇	
五〇歲	五四	二四、六四三	四七、〇六三
五五歲	五九	二九、九六一	六七・五
六〇歲	六四	七二、五二七	
七〇歲	七四	七〇、五三三	

八〇歳——八九歳	二一、二二三	四二・九
九〇歳以上	一、三〇〇	三・五
年齢不詳	五八	〇・一
總 數	六二一、三三七	一〇〇〇・〇

右の表を注意して見れば零歳で死亡するもの實に十六萬、千分比で二四五。實に出生者の四分の一が死亡するのであります。また一歳で死亡するもの四萬、二歳で死亡するもの二萬、三歳では一萬二千、四歳では七千七百。之を一歳より四歳まで合計すると八萬二千であります。千分比にすると百二十六。零歳の半數であります。而して一歳より四歳までの死亡は實に五歳より二四歳までの總數に匹敵し千分比一三四に比し僅かに三の差にすぎません。又出生より四歳、即ち五歳以下の死亡者が千分比で三百八十一。それで出生者の三割八分、ザット四割が死亡する譯であります。この大勢は世界各国同様の傾向はもつて居りますが文明國で我が國程幼児の死亡率の多い所は蓋し稀でありませう。兎に角英國はこの幼児死亡率を減少し、幼児の健康増進のためいろいろ方法を講じて居ります。ロンドンカウンティ、カウシルは特に幼児保護の教授を施すことを實施してゐます。所謂育児法の特別教授をなしてゐるのであります。我が國では女學校に於て家事科に僅かな育児の講義をしてゐますが多くは育児の經驗のない家事の教師が只机上の空論を講義するだけで、生徒はふざけ半分にさくに止まる有様であります。しか

しロンドン市では實地に練習を兼ねた醫學的の講義であり、一定の資格を與へるやうな教養としてゐるのでありますから實際幼兒の健康増進に大なる功獻をなすことであります。我が國でも近時漸く成人教育が盛となりましたが婦人に對する成人教育の主要なる題目事項は幼兒の實際に關するものでなくてはなりません。目前に必要感に迫られてゐる若き母親に對し幼兒の確固たる方針や方法醫學的の知識等を教授することは女學生に對する空論とはその効果に雲泥の差があります。

また英國では保育學校を通じて母親に幼兒の知識技能を啓發してゐることも注目すべき點であります。我が國幼稚園の保護者懇話會や保護者會は單に幼兒についての小言や幼稚園維持の費用を支出させるだけでなく積極的に家庭に對して育児法幼兒教育法を徹底させる方法を講じ工夫を行はねばならぬと思ひます。兎角我が國の幼兒保護に關する宣傳は知的方面に流れ易く、乳幼兒の身體的保護、健康増進の方面が輕視せられ勝てあることを遺憾に思ふのであります。

三

大正十五年十二月十五日ロンドンの北部ハムステッドにあるロンドンカウンティカウンスルの健康研究所を參觀いたしました。こゝでは午後二時半より四時まで五歳以下の幼兒の健康診断を無料で行つて居ります。此の幼兒の健康診断を行ふことによつて一は幼兒の身體的研究をなす資料を得ることが出來ませう。身長・體重・胸圍等を測定し、幼兒發育の状態を十分研究し得る資料が提供せられます。我が

國にはよく研究した幼児の發育表さへない位であります。これは容易にその材料が得られないからであります。病院では普通の幼児に關する材料が得られず幼稚園では三四歳以下のものは全く得られず、且つ専門醫がない所で行ふのであるから不完全であるといふ有様で、僅かに三島博士の調査を何時でも引合に出さねば他に全くよい研究がない位ではありませんか。ハムステット健康研究所は乳幼児の無料診断を行つて幼児發育等の研究をなしてゐるので誠によい企てであると思はれます。この研究所では更に母親に對し幼児保護の方法を授け、育児の實際的手腕を養ふことに大なる功獻をして居ります。私が行つた日には慈善家よりの寄附金を以て乳幼児の食物、衣服類更に玩具等乳幼児に必要な品々を實費以下にて販賣して居り。母親達に茶菓（これは四時のお茶であります）を無料で供給して居りました。この研究所はハムステットでは比較的貧民の多い住宅地にありますから何れも上品でない母親達が幼児を抱いたり乳母車に載せて澤山來て居ります。一階二階ではせつせと乳幼児の測定や診断を行つて居り、地下室では賣店食堂があつて澤山の母親達が乳幼児の用品を購求し、お茶をのみお菓子をたべてゐるといふ光景でありました。私もお茶お菓子の御馳走になりいろいろの説明をきくことが出來たのであります。それでロンドンでは五歳以上の幼児は幼稚學校小學校で體格検査健康診断を行つてゐますが、五歳以下の幼児についてはこの研究所などで幼児の健康増進法を講究し普及させる方法をとつてゐるのであります。これは我が國の如く幼児の死亡率の多い國では國家としても自治團體などに於ても大に模

做すべき事柄だと思はれます。慈善的に行ふ事業としても幼児の健康増進法の講究普及は最も大切なよ
い事項ではありますまいか。

四

更にロンドン市では貧民の幼児に榮養食を小學校で供與して居ります。カウンティ、カウンシルの報
告によると一九二四年末に於て九千五百人の兒童に一週四萬七千の食事を、これは全く無料か又は一部
分の代價を支拂はれるものであります。給與してゐます。また一萬七千五百人の兒童に對し毎週八萬五
千の食事これは實費を徴收して供給してゐます。是等は主として小學校の晝食で幼児に適當な榮養食、
ライスブッデングとか、ミルクとかいふやうなものを學校に於て適當に供給するのであります。丁度大正
十五年十二月十七日ロンドンカウンティカウンシルのミッドルロー小學校を參觀したとき榮養食物を給與
して居りました。この附近は工場が多く貧民が多いのでこの小學校では女兒部の割烹室の外に廊下を仕
切つて澤山の貧民兒童に晝食を供給し得るやうになつて居ります。私の見たときには大きな井に暖いス
ープとパンとライスブッデングとを與へるやうにしてありました。私はこの食物給與を我が國で眞似せ
ねばならぬとは考へませんが、しかし幼児に適當な食物榮養辨當などを研究し、比較的安價に危険なし
に供給することは東京大阪等の如き大都市では幼稚園小學校は勿論中等學校でも至極肝要だと思はれま
す。冷い辨當を食はねばならぬ冬季の學校晝食は如何に兒童生徒の保健上悲慘なものであるかを考へる

ときは慈善事業ではなく國民保健上重大事業だと思ふのであります。

五

最後に附加したいことは子供公園に關しての事柄であります。ロンドン市の如き大都市の小學校には芝生の運動場も校庭に樹木を栽培して置くことも出来ません。これは我が國東京大阪などの小學校に於ても同様であります。ロンドン市は到る處住宅にはよい芝生があつて幼兒の運動には比較的都合がよく出来てゐますが尙ほ幼兒の健康増進上甚だ不足であります。それでロンドンには到る所大小の公園が澤山あります。ハイドパーク、ケンジントンガーデン、グリーンパーク、セントゼームスパーク、レーセントパーク、プリムローズヒル、グリーンウイチパーク、ヰイクトリヤパーク、ケンニントンパークの如き大公園は多く市中に近く存在し一八五〇年代から公園となつて管理せられたものであるがこの外にロンドンカウンティカウンスルの管理する大小の公園、公開の廣場が數に於て百十七、その面積五千百八十三エーカー公園で使用せる人々が一千百六十一人維持費毎年三十一萬ポンドといふ統計になつてゐます。之に右の九大公園を合算すると實に莫大な面積となりますが試みに一エーカーは一千二百二十五坪に相當いたしますから六千エーカーでは七百三十五萬坪ロンドン市の公園總面積少くとも八千エーカー以上ありますから一千萬坪ある計算になりませう。兎に角大小多數の公園があつて芝生があり池があり丘があり樹木や花卉草花等が栽培せられてゐるのは勿論であります。それで各日曜の午前は殆ど乳幼兒の運動日光

浴に専用せられてゐる有様であります。若し午前中に公園に行けばち／＼歩む幼児が芝生の上をころ／＼歩むか乳母車に乳兒を載せたナースの群が非常に多いのであります。全く午前の公園は乳幼兒と犬とナースだけであるといつても決して不當ではありません。午後三時以後になれば小學兒童などが多くなり午後六時以後は大人の専用となりますが兎に角大小の公園は幼兒保健上に功獻してゐることは實に莫大なものであります。殊に注意すべきはどの公園廣場でも必ず子供遊園があることとあります。満十四歳以下の兒童幼兒のみが自由に運動する子供のための遊園があります。こゝへは大人は入ることが出来ない若し入るならば幼兒の運動を保護するため決して運動具を使用することが出来ません。東京の小公園の如く小僧や御用さゝの如き連中が愉快に遊んでゐる幼兒からブランコやすべり臺を奪ふといふが如きことは毛頭ありません。例へばケンニングトンパークの一角にこの子供遊園があります。ちやんとロンドンカウンティ、カウンシルの掲示がしてあります。十四歳以上のものが入つてはならぬことが掲示してありますが私は特に入つて見ますと自働電話室の如きものがあります。そこに一人、五十以上と見える婦人がゐます。これは公園のナースで子供が遊んでゐる間に怪我などをすれば應急の手當をなす人で且つ子供の遊を監督する人でもあります。ブランコが子供用と幼兒用とに分けてあるし廻旋塔も二つもありブランコは四ヶ所にあつてその數は三十もあります。また幼兒の砂場があつて専ら小學校一二年位までの幼兒の使用に供してある附添の母親とかナースも多く入つてゐるが決して運動用具を使用せず

幼児の運動を助けてゐるか自由遊びをさして別に用意してある腰掛で監督してゐるといふ有様であります。また英國議院の横にあるヴィクトリヤタワーガーデンの一隅には大きな砂場があります。私は大正十五年六月十九日この公園に來たのが午後四時前九十幾人の男女の子供幼きものは漸く歩く位、大きいもので十二三歳、丁度日曜日のことであるから大きな子供は弟妹を連れて來て共に遊んでゐます。玩具のバケツ、匙など穴を掘り山を築き自動車をつくり、トンネル築きまた全身を砂中に埋めなどして日光浴をしつゝ、嬉々として遊んでゐます有様、大人の附添は僅かに三人この三人共砂場の横に監督しつゝ、讀書してゐるのであります。また水のみ手を洗ふために水道栓が數ヶ所出來てゐて子供が自由に使用し得るやうになつて居ります。以上の二例は模範的のものではないのでこの公園にも必ずこの子供公園が出來てゐるしナースがゐて手當をなすやうになつてゐることは確かに公園をよく利用してゐるものといはねばなりません。我が國でも東京には小公園が澤山出來、日比谷公園には子供公園が出來設備が次第に完備しつゝあり明治神宮外苑には立派な子供遊園が出來てゐますなどは誠に喜ばしき施設であります。がもつとこの方面が發達せねばならずこれが經營に工夫を要し之を利用する上に考量すべきことが多々と思はれます。兎に角大都市になればなるほど幼児保護の施設を完備せねばなりませんから特に幼稚園教育に盡力する方は必要な工夫と指導をせねばなりません。幼稚園でも幼児の遊び場運動用具に今一層考量し施設するところがなければなりません。また英國保育學校の如く特に公園利用を目的として幼稚園保育學校托兒所等を設置することが肝要であります。

幼児と清潔の習慣

醫學博士 青 木 醇 一

清潔は衛生の根本である、病は多く不潔から發生する、清潔なところには病魔の犯す餘地がない。不潔な手は色々な傳染病の媒介になる。口腔が不潔なときは口腔内に色々な病氣がおこる、齒が悪くなる。皮膚が不潔なときはすべての皮膚の機能が鈍くなる、色々な皮膚病が起る。かやうにして不潔は萬病のもとであり、清潔は人の健康をすゝめる所以である。衛生と云ふ言葉は清潔の二字にかへてもよい。それ故幼児にも早くから清潔を好む習慣をつけておくことが必要である。

手が種々の傳染病の媒介になることは決して少くない、殊に幼児はとかく手握みて食物を食べたり指を口に入れたりする癖があるから手を清潔にすることは極めて大切な事柄である。それに幼児期は多くの傳染病に對して最も感受性の強い時であるから特に注意しなければならぬ。例へば麻疹・實扶的里・猩紅熱・水痘・百日咳・疫痢など何れも二、三歳から五、六歳の幼児が最も犯され易いのである。それ故食事の前には必ず手を洗ふやうに慣すがよい、又戶外の遊戯を終へた後や、幼稚園や外出から歸宅した際にも必ず獨りて手を洗ふやうに躑けておくがよい。初めは何となく面倒であつたり又は忘れ勝ちであつた

りするが慣れると人から注意されなくても獨りでするやうになる。又爪がのびると不潔になり勝ちなばかりでなく危険もある。小さいも短く切つておくやうにしなければならぬ。

口腔は色々の病氣の侵入門である。常に清潔にして病原菌の巢とならぬやうにしなければならぬ。口腔が不潔であると種々の口内の病氣を起し易い、幼児に多い口腔の病氣は口内炎、扁桃腺炎、齲齒などである。口内炎は口腔粘膜がたゞれたり又は白い斑點が出来たりして食事の時など痛みを覺え、そのため十分に食事をとることが出来ぬやうになる、なほそれのみならず時には高い熱を發してくるものである。扁桃腺炎は扁桃腺が赤く腫れて痛み時には更に白い斑點のつくこともある、そして大抵高熱を發し氣分が悪くなり頭痛など起してくる。これ等の病氣を豫防するには常に口腔を清潔にしておくが最もよい、それ故幼児には含嗽をよくさせるがよい、殊に食事後など必ず含嗽するやうにならすがよい。幼児の齒はとかく齲齒になり易い。勿論齒の質のよいものと悪いものでは著しい相違があるが、口内や齒が不潔なほど齲齒は出来易いのである。口内が不潔であると齒と齒の間に食物の殘渣が長く残つてゐる、そして澱粉や砂糖のやうなものは口内にゐる黴菌の作用で分解されて乳酸酸酵をおこしてくる、でこゝに出來た乳酸酸酵は長い間に自然と質の悪い幼児の齒を犯してその珐瑯質や齒骨質を追々と溶かして軟かにし遂に齲齒が出来るのである。それ故齒を大切にするならば必ず食事後に含嗽して口腔内に食物の殘片などないやうにしなければならぬ、又既に幼稚園期にもなれば幼児は獨りて齒を磨くことは出来るから毎

朝齒を丁寧に磨くやうに慣らすがい。口内が不潔な時は單に口内の病氣や齲齒をおこすばかりでなく危険な色々の傳染病などを起し易いものである。例へば肺炎菌や流行性腦脊髄膜炎菌などよく健康な人の咽頭に侵入してゐることがある、そしてこれが何かの機會に肺炎をおこしたり流行性腦脊髄膜炎を起したりするものである。それ故よく含嗽して咽頭を清潔にしそこにゐる病原菌を一掃するやうに努めなければならぬ。又流行性感胃の流行時などは、人混みなどに出て歸宅した後は必ず含嗽を忘れてならぬ、その外デフテリーなども好んで咽頭を犯す病氣であるからよく含嗽すればこれを豫防する一助ともなる。單に病氣ばかりでなく口腔内が不潔な時は悪い臭氣を發するやうになつて不快なものである。

皮膚の健康を保つには清潔にするが第一である。皮膚は色々微妙な機能をもつてゐる。色々な感覺をもつてゐることは云ふまでもないが、この感覺も皮膚が餘り不潔では鈍くなる。又皮膚は絶えず酸素を吸収して炭酸瓦斯を排泄してゐる、これが即ち皮膚呼吸である、そして幼兒は大人に比して新陳代謝の盛んなだけ皮膚から排出される炭酸瓦斯の量も大人と比べて割合に多いのである。皮膚が不潔で垢づいてゐるとこの作用も著しく妨げられる譯である。又皮膚は體温を調節するために發汗作用をもつてゐる、即ち暑い季節には發汗を多くして體温の發散を大きくし、寒い時は發汗を減じて皮膚の表面から水分の蒸發によつて失はれる熱を少くするやうに努めてゐる。皮膚が餘り不潔なときはこの發汗作用も妨げられるやうになることは見易い道理である。これ等の皮膚の生理的作用が十分に發揮されなければ健康に障

害を及ぼすことは云ふまでもない、それ故皮膚は常に清潔にしてその機能を十分に發揮させるやうにしなければならぬ。皮膚を清潔にするには入浴が最もよい、殊に幼児は日中盛んに活動するから發汗も多く皮膚は汚れ方も著しいからなるべく毎日入浴させるがよい。入浴は皮膚を清潔にするばかりでなく皮膚を丈夫にする効果がある、即ち入浴すると皮膚は温まるから皮膚に分布されてる血管は急に開張し皮膚の血液循環は盛になつてその榮養がよくなる、又入浴後冷い空氣にふれると急に皮膚の血管は收縮して體温の發散を防ぐことになる、従つて度々入浴していると皮膚の血管はよく外氣の寒暖に應じて收縮擴張する機能が鋭敏になつてくる、そこで寒さに對する皮膚の抵抗力は増して來て感冒などに罹らなくなるものである。又入浴は皮膚の抵抗力を強める外全身の血液循環を盛んにして新陳代謝を高め精神を爽快にし疲勞を恢復する利益がある。その他皮膚が清潔であると色々の皮膚病に犯されることが著しく少くなる。又寒い季節には幼児は凍傷を起し易いが凍傷の豫防にも入浴が最もよい。凍傷は一般に多くの幼児に出來易いが特に貧血な幼児や腺病質のものに出來易い、凍傷になり易い幼児はよく入浴させて全身の血液循環をよくする外特に凍傷になり易い部分、たとへば手や足の甲又は耳朶などよく洗つて清潔にし又よく摩擦してその部の血液循環をよくしてやるがよい、なほ浴後に凍傷の出來易いところ又は凍傷になりかゝつたところにベルツ水をつけておくがよい、ベルツ水は家庭でごく簡單に出來る、即ちアルコールとリスリンとを等分に混ぜこれをほど同量の水で蕪めればよい。ベルツ水は凍傷の豫防にも效

くが又手足の「あれ」や「ひど」を防ぐに此上もない良薬である。

手、口腔、皮膚など身體を清潔に保たねばならぬ理由は今述べたやうであるが、その他衣服や住居なども矢張り同様に常に清潔にしておかねばならぬ。幼兒は日中砂やほこりの中を跳んだりはねたりして遊ぶから衣服は殊に不潔になり易い、遊戯後や外出から歸宅後などよく衣服を拂つて砂やほこりをとつてやらねばならぬ、又折々清潔な衣服を取り替へてやることも必要である。肌着は皮膚に直接觸れるものであるから殊に清潔なものを用ひる必要がある、衣服は勿論保温がおもな目的であるが、肌着はその外にしらずしらずの間皮膚の垢を拭ひとつて皮膚を清潔にする役目をなしてゐるものである、然るに肌着が餘り不潔であると却つて皮膚が肌着によつて汚されることになる、なほ又肌着が垢づいたり、濕つたりしてゐては通氣が不完全になるから皮膚の呼吸作用を妨げることになる。衣服の外居室を清潔にすることも大切である、室内が不潔で塵埃などが多いとそれが室内の空氣中に飛散して空氣も悪くなる。又室内に幼兒が遊んでゐる時はその身體、衣服、疊などから塵埃や黴菌などが飛散するばかりでなく呼吸から炭酸瓦斯などが出るから室内の空氣は忽ち不潔になる、それ故障子や窓をあけて折々換氣して新鮮な空氣に換へなければならぬ。空氣が不潔なときは單に呼吸器を害するばかりでなく全身の健康を害ふものである。幼兒の頃から不潔な室を厭ふやうに、又換氣の必要など教へておくがよい。

かやうにして身體、衣服、室内など清潔に保つことは種々の疾病を豫防するばかりでなく幼兒の健康

をすゝめてゆく上に極めて大切なことである。しかし清潔の習慣は決して一朝一夕には養へるものではない、殊に幼児は病氣の危険など全く知らないから日常よく清潔の必要なことを教へて早くから清潔を好む習慣をつけるやうに躰けなければならぬ。近時我が國の醫學も著しく進歩し泰西の先進國に對しても著しい遜色を見ないやうになつた、しかし未だ一般國民の衛生思想は決して進歩したとは云へない、不潔による種々の傳染病が四季その跡を絶つことのないのを見てもよく知られる。小さな幼児の頃から不潔を厭ふ習慣を養つておくことは極めて大切なことである。

幼児がつくつたお話

附屬幼稚園七歳の男兒

あるところにおぢいさんとおばあさんがありました。

おぢいさんは山へいつて木こりにあひました。そして「木こりさん木こりさん木をくださいな」といつて木をもらひました。そしておぢいさんちへかへりました。するとおばあさんがあません。おぢいさんはあちこちさがしましたがあません。たんすのひき出しをあけて見ますとおばあさんが風船になつてあました。おぢいさんがおどろいて見てゐるうちにおばあさんの風船はふわり／＼と天井へのぼつていつて天井へくつついてしまいました。おぢいさんはものさしをもつてきてその天井の風船をとらうとしますと風船はまどから外へとび出してしまいました。そして柿の木の枝にぶつつかつてひつかかつてしまいました。

柿の木にはお猿がとまつてゐました。そしてその風船を見て柿と思つたものですから手でぎうと風船をつかみました。風船はぼーんとこわれてしまいました。

幼稚園の懷舊を辿りて (五)

望月くに子

神戸の保育

(前々號の續)

さきに頌榮幼稚園長エー、エル、ハウさんのことを御紹介いたしました、同氏は今回四十年の長き神戸の保育生活を離れて急に十月十七日歸國されることになりましたので、神戸市保育會では兼

て計畫しつゝありました表頌式を十四日午後二時から舉げることになりました。當日は兵庫縣知事神戸市長代理を始め知名の紳士教育關係者等二百餘名集會盛大に靜肅に其偉績をたゞへて記念品を贈呈しました。翌日は又キリスト教及頌榮幼稚園關係の方々の送別會がありまして、ハウさんは私共の心からの賞賛と惜別をお喜び下さいました。そしてサヨナラの別辭を残して其故國に旅だたれ

ました。ハウさんはいつまでも日本に御出になると思ふてゐた私共にはとびに得物をさらはれた様な感じが致しました。誠に惜しみても餘りあることとて御座います。たゞ天佑の永しへに同氏の上にあらんことを祈つて居ります。

關西の保育に重大な關係のあるのは京阪神三市聯合保育會であります。今ハウさんに別るゝに當つて油然として起つて來るのは神戸市の保姆會が京阪神三市聯合保育會の起原でありますから序にこれらのことを聊か申上て見たいと存じます。

明治三十年十月九日始めて神戸、兵庫、頌榮、善隣の四園の保姆集りて保姆會を組織致しました。會する者十名(神戸の保姆總數は僅かに十數名之

を今日の百數十名に比較するときは實に今昔の感に堪えません（一寸其時の會則を掲げて見ませう。

神戸保姆會規則

第一條 目的 保姆は互に保育の實驗談をなすこと

と

第二條 場所 各園順番に受け持つこと

第三條 時間 毎月第二土曜日午後三時開會のこと

と

第四條 會費 一ヶ月金五錢と定むること但し寄附を仰ぐことあり

と

第五條 會員 保姆のみ會員たること

第六條 役員 會長一名幹事三名たること

京阪神三市聯合保育會問題一覽表

同次 年月日 場所

1 明治三十年 京都市

十月二十日 楊梅幼稚園
二十一日

研究問題、協議題等

1. 恩物の取捨選擇

2. 幼兒の椅子テーブルの排列法

以上の様な法三章の二倍たる六箇條よりなる至極簡單明瞭なる原則でしかも會員僅かに十名餘其頃の研究問題には文部省と幼稚園の關係といふ様なのもあれば米國保姆大會との聯絡もあつて可なり活動したものであります。殊に此保姆會が主唱者となつて始めて市都市に於て明治三十年十一月二十日及二十一日の兩日京阪神三市聯合會が開かれたことは一粒の種のたとへの様であります。まことにくだくしき様なれども關西に於ける保育の發達を知る爲には此會に提出された問題を調べることが一番近道だと考へられますので左に之を掲げます。

2

三十一年
四月十六日

大阪市
東江幼稚園

3

三十一年
十一月二十三日

神戸市
頤榮幼稚園

3. 幼稚園を全國に普及せしむること

4. 幼稚園と家庭との聯絡方法

5. 保母に退隱料年功加俸を受けしむる得失

6. 毎年二回雜誌を發行する方法

演説。清水正五氏、フレーザー氏の目的に原く保育中の一部

1. 三市聯合保育會雜誌發行の件

2. 椅子卓子等の調製法

3. 授業時間分割法

4. 如何なる唱歌、遊戯、恩物談話が最も有益なりや
演説者は石氏

1. 保育室内に暖爐を設くるの可否若し可とすれば其設置の方法

實驗上につき意見を承りたし

2. 幼稚園に於て教ふる色の種類及順序等は如何にすべきかに就

て御意見承りたし

3. 幼稚園の幼児保育年限は如何に定むるを以て適當とするか

4. 學校と幼稚園との聯絡法

5. 保育室内にあつて保母が椅子によることありや若ありとすれば如何なる場合か承りたし

6. 幼兒をして敬禮せしむる場合に就て詳細に其實驗上の御意見

6	5	4
三十二年四月二十八日 神戸市 神戸小學校	三十二年十一月十八日 大阪府立 女子師範學校	三十二年四月十六日 京都市 豊國幼稚園

- を承りたし
7. 天然物の教授法の實驗を承りたし
建議案
1. 幼稚園設備準則を設けられんことを其筋に建議するの可否
 2. 幼稚園職員を小學校職員と同様に取扱はるゝ様政府に於て規程を設けられんことを文部大臣に建議すること
- 演説者 ハウ氏
1. 三市聯合保育會決議を要する時は如何なる方法によるべきか
 2. 幼稚園に於て保育すべき幼兒數の最大限
 3. 幼稚園職員の待遇を小學校と同一にすること
 4. 天然物の教授法
 5. 學校と幼稚園との連絡
- 右二題前回の分に關し更に意見を聽かんことを求む
- 演説。木下廣次氏 教育上の諸問題
- ベスト流行の爲神戸市よりの出席を拒絶せられ知ることを得ず
1. 會集の良方法
 2. 唱歌材料の選定に就て
 3. 遊園の構造は如何なるものを適當とするか

8	7
三十四年 五月二十九日	三十三年 十一月十日
大阪市 愛珠幼稚園	京都市 竹間小學校

4. 机腰掛の調査期を早むること

5. 恩物の目的の要點

演説。松尾貞次郎氏 幼稚園の教育

高木友衛氏 學校衛生について

1. 遊戯室の廣さは幼兒一人に對して幾何の割合を以て適當とするか

2. 保育時數は如何に定むるを以て適當とするか

3. 外遊の際幼兒に貸與する玩具

4. 聯合會に於て改良恩物の圖形を蒐集し一つのブックを造るの可否

5. 二十恩物の内粘土細工をバラフィンに改良するの可否

演説。本莊太郎氏 フレベルの研究

大村忠二郎氏 フレベル氏及其著書

1. 遊園に敷くものは(細砂、小砂利等)如何なるものを適當とするか

2. 或場合に於て保育上學術語(二分の一、正三角等)を用ふるの可否

3. 幼稚園に敷物を用ひて地上と床上との區別をなすの可否
演説。栗本庸勝氏 育兒法に就て

神戸市保母會は宗教上の或事情の爲（日曜日に関會せざること及び集會の始めに讚美歌祈禱を以てするか又は國歌を以てするか等につきて）京阪二市と其意見を異にし又遂に脱會するの已むなきに至りました。

而して又明治三十五年十一月新に組織されし神戸市保育會は再び京阪二市に聯合を申込み茲に三市聯合保育會は成立せるも神戸市の幼稚園は神戸

兵庫の二園あるのみ（神戸幼稚園長は頓野きよ子兵庫幼稚園長は橋本常子）保母數僅かに十名其後數年間は遊戯を聯合會に提出する際にも實演者足らず已むを得ず保母の妹又は女學生を急仕立の保

母として其責を果したることの如何に苦しかりし

ことなりしか。たゞ財政上の援助として有志者の（兵庫の有馬市太郎氏、池長通氏等特志ありしを以て漸く維持して來ましたのです。其頃私は兵庫幼稚園を橋本氏に譲つて京都市府立第一高女に勤務しながらも度々神戸に來り兩氏と相談し如何にして此聯合會を續げんと苦心しましたので忘れられぬ記念であります。

キリスト教の方面では分離後更に近畿保育大會を起され今以て連續研究されて會員も亦二三百名に達し一大勢力となつて居ります。各其進むべき方面に進んだのは却て結構でありました。

同次 年月日 場所

10 明治三十六年大阪附立
五月五日 女子師範學校

研究題 協議題 演說等

1. 幼稚園職員の待遇法を小學校と同一にせられんことを文部大臣に建議すること

2. 明治三十三年法律第六十三號市町村立小學校國庫補助法中に市町村立幼稚園保母を加へ其恩典に浴せしめんことを其筋に

建議すること

3. 明治二十三年法律第九十號小學校教員退隱料及遺族扶助料法を幼稚園職員に適用せられんことを其筋に建議すること
4. 幼稚園保姆の資格に關し小學校令第二百四條を幼稚園に於て幼兒を保育するものを保姆とす保姆は女子にして尋常小學校本科正教員の資格を有し保育上經驗ある者又は府縣知事の免許を得たる者たるべし保姆の職務を助くるものを助手とす助手は尋准の資格を有する者又は府縣知事の免許を得たるものたるべしに改正せられんことを其筋に建議すること
5. 小學校令施行規則第二百五條保姆の下に(助手)の二字を加ふること

研究題

1. 幼稚園に於て保育を終りし幼兒が小學校其他將來に於ける成績調査に關する方法如何
2. 石版畫は興味少きを以て簡易なる切拔畫を摸寫せしめ之に彩色なさしむるの可否
3. 現今の狀況に於て幼兒入園年齢を滿四年よりとするの可否
隨意談話題
1. 遊戯室及保育室の裝飾法如何
2. 教師の品性が兒童教育上に一大必要なるものに非ずや
3. 幼稚園に於て自然界を研究する時につきフレール氏の目的

13 同三十九年 五月二十日	12 同三十八年 六月四日	11 明治三十七年 五月二十二日
大阪市 愛珠幼稚園	神戸市 兵庫尋常小學校	京都市 銅駝幼稚園

は何でありますか

4. 幼児の組を分つに男女の性を以てすると長幼をもつてするとの可否

5. 日本幼稚園の特色

1. 受持を定むるに一人にて同じ組を保育するを可とするか又は順次持ち上りを可とするか其利害得失如何

2. 幼稚園の状態を家庭と一致せしむる方法

3. 幼児観察の實況竝に之が改良如何

4. 保育室は一室に一組の幼児を收容すると二組の幼児を收容すると保育上及經濟上に於ける得失如何

5. 幼児毎日の製品は如何に處理するか

演説 題不詳 田中勝之丞氏

研究題

1. 園児に時局に關する觀念を與ふるの可否

2. 幼児に名譽心を獎勵する方法

3. 幼稚園に於て幼児に間食せしむるの可否

研究題

1. 幼児をして自然界に接觸せしむる方法如何

2. 保育談話の各種類は如何に配當すべきか

16	15	14
同四十二年 六月六日	同四十一年 六月七日	明治四十年 六月九日
神戸市 縣立高等女學校	大阪市 浪華小學校	京都市 銅駝小學校

3. 屋外保育の方法如何
4. 幼稚園と家庭との連絡方法を承りたし
1. 屋外保育の方法如何
2. 幼稚園と家庭及學校との連絡方法を承りたし
3. 各幼稚園に於ける研究問題竝に其研究の狀況を承りたし
4. 共同の玩具若くは運動具の取扱上起り易き一般の弊害を如何にして防ぐべきか
1. 各幼稚園に於ける研究問題竝に其研究の狀況結果を承りたし
(再出)
2. 共同の玩具若くは運動具の取扱上起り易き一般の弊害を如何にして防ぐべきか(再出)
3. 各地方に於て最適切なる保姆養成の方法如何
4. 各幼稚園に於て實施しつゝある手技の種類及各種類に對する
幼兒の好惡の度合如何
1. 屋外保育を完うせん爲最適當なる設備如何
イ、土地の狹隘なる場合
ロ、土地の廣濶なる場合
2. 文字を書く幼兒の處置如何
3. 各幼稚園に於て特に力を用ひらるゝ事柄の實際を承りたし
4. 師範學校女子部卒業生を卒業後直ちに保姆に任用し得る様規

<p>17 同十三年 五月二十二日 京都市 豊園幼稚園</p>	<p>18 明治四十四年 五月十四日 大阪府 女子師範學校</p>	<p>19 明治四十五年 六月二日 神戸市 縣立高等女學校</p>
---	---	---

- 定を設けられんことを其筋に建議すること
5. 保育満期の兒童の小學校に於ける成績如何
 1. 文字を書く幼兒の處置如何(再出)
 2. 發音不自由なる幼兒に就て注意すべき事項如何
 3. 幼稚園に於ける體格検査を最有效ならしむる方法如何
 4. 早熟兒童の取扱方の實際を承りたし
 1. 幼兒に適當なる机腰掛の種類及其排列法如何
 2. 恩物の消毒に就て實施の狀況を承りたし
 3. 幼稚園の入園幼兒の年齢満三年の制限を廢し保母一人の擔任數及一園の收容幼兒數を擴張するものとせば今後幼兒保育の方針如何
 4. 早熟幼兒の取扱方の實際を承りたし
 1. 土地の狀況に依り二部保育を施すの可否
 2. 小學校の本科正教員たる資格を有する公立幼稚園の保母に對し年功加俸を支給せらるゝ様其筋へ建議しては如何
 3. 幼稚園に於ける色彩の名稱及手技品の名稱を如何なる程度まで小學校と連絡せしむべきか
 4. 各幼稚園に於て目下最も適當と認められ且永續せる遊戯の種類と其方法の概略を承りたし
- 演説 幼兒保育の新目標 倉橋惣三氏

以上 明治年間の部終

右を通覽すれば明治三十年頃には保育の内容に就いて互の意見の交換を爲さんとする傾向著しく次第に法令上の改正をも希望してゐますが明治三十六年たしか博覽會が大阪で開かれた時同時に全國の幼稚園が會合して大に保姆の待遇資格向上について協議し且建議されました其效は著しく遂に小學校の正教員の資格を有する保姆に恩給を給せらるゝの特點を與へられました。この事に盡力して下さつた主なるお方は當時の大阪府立女子師範學校長大村芳樹氏であつたと思ひます。明治三十九年頃に至つて屋外保育を考へて居ります。引つゞき數年に互り此問題が提出されて居りますことは餘程の進歩と思はれます。後明治の最後の年に於て倉橋先生が幼兒教育の新目標の題下に保育の方針を御示し下さいました時からハッキリと皆々の行くべき道が判つたのであります。四十二年六

月から文字をかく幼兒の取扱法の研究が起りました此問題は大正になつても續きました。家庭又は學校と幼稚園の聯絡問題は聯合會の始めより今回の聯合會まで幾度か提出され今以て解決がつかないのは學校の方は法令の改正と幼稚園の普及を要求しますし家庭の方は忙しいので思ふ様にならないのでありませう。其他保育室内で腰かける場合を問ふた珍問題もありますが要するに一生懸命に其使命の爲につき進んだことは今から考へても涙ぐましい位であります。今日の幼稚園令改正や幼稚園の普及發達は此會に負ふ處が尠くないと斷定してもよいと存ます。



十二月の幼児生活

東京府女師附屬幼稚園

ト 部 た み

十二月の主材

○學藝會

○十二月誕生會

○玩具祭り

○十二月の町

(歳の市、冬至、クリスマス 大晦日)

○十二月の庭園其他

(吹雪、冬枯、冬木立、枯野、寒月、霜、つらら、霜どけ、氷、ダリヤの球根其他の移植、霜よけ、冬の花、果物、飼育動物)

○十二月の家庭生活

(正月の仕度、餅搗き、かるた、はねつき、凧あげ、すご六、晴着の仕度、クリスマス

曜 週	第 四	第 五	第 六
1	<p>自由遊び(同前) 學藝會豫行演習 觀察、 校内 寄宿舎の庭</p>	<p>自由遊び ピョン太郎カルタ、はね つき お話し遊び(親雀、子雀)其 他 談話(舌切雀) 唱歌、遊戯(雀、其他) 手技(繪)雀の冠作り 傳道院附近散歩</p>	<p>學藝會 當日幼兒の演技、雀、兵隊 遊戯及唱 歌 樂 隊 お話し遊び 幼二、桃太郎 幼二、音と聲 幼二、靴がなる、 幼二、鈴蟲 幼二、あられ、 幼二、お話し</p>
2	<p>自由遊び ピョン太郎カルタ、お客 様ごっこ、サンタクロー スゴツコ 誕生會、 午前九時半—十一時 觀察(本校庭) (枯木、柏葉、綠葉、池の水) (菊、霜どけ、雲、袋蜘蛛)</p>	<p>植物園戶外保育、 午前九時—午後一時廿分</p>	<p>自由遊び 昨日の話、 談話、繪 植物園ごっこ(砂場) まりころがし お話しあ(親雀小雀、 熊のおうち、桃太郎) 唱歌、遊戯 蓄音機をきく 談話(小さいばん)</p>
3	<p>自由遊び(家庭からの玩具 飾り) 町へ散歩(町の景、暮の仕 度) 牛込神樂坂通り、 午前九時半—十一時半 午後、 談話、手技</p>	<p>自由遊び (家庭からもつてきて玩具 飾り、及それについて各 兒思) 出話 玩具祭りの仕度、裝飾 (手技) 唱、遊、練習 昨日の話、買物、家庭の正 月の仕度の話 談話(鼠の工夫)</p>	<p>自由あそび 玩具についての各自發表 玩具祭りの仕度、 その間に 十二月分身機検査</p>

玩具祭りについて

玩具祭りは毎年致して居りますが、最初に致しました大正十三年の日誌からぬき書きしまして説明に添へる事と致します。(十二月十七日)

幼兒の家庭へ次の手紙を持ちかへらせました。

愈々おしつまりました。お子様方はお正月を待つ嬉しさを一ばいでございます。昨年はお餅搗を致しましたが今年はお趣をかへ、楽しかつた今年の思出をなつかしみ待遠しいお正月を楽しみその生活を一層豊かにするために、「玩具祭り」を致したいと存じます。

就ては次の項も含みの上にお子様と一番おなじみの深い玩具を一二點宛来る二十日(土曜日)までの間にお持たせ下さい。

一、日常一番喜んで玩んでゐるもの、或は一番思出の深いもの、

一、機械の精巧とか、価格の高いものといふ選

び方でなしに、たとへ破損をしてゐても、つまらない様なのもお子様に興深いとか、意味のあるといふもの。

一、此の意味でお子様自身或は他の方の製作によるものもよろし。

一、其の玩具には姓名、買った時、及び其頃其時のお子様の状況、若しくは御感想。其他を御記入下さいませ。又御子様自身發表出来る程度の事は本人にさせ、一年生(尋一)は説明を自身に書かせますから豫め御配慮下さいませ。

一、御持寄の玩具は二十三日にお返しいたします。

一、玩具祭りは十二月二十二日(月曜)午前十時——十一時半

追て當日御希望により御一緒にお遊び下さいませ方は歓迎致します。

十二月十七日

第一部(尋一、幼稚園)

お母様方へ

遊びの趣旨は概ね右の手紙の中に現はれてゐると思ひますが、つまり幼児及兒童に、年の暮として楽しい集ひであるクリスマス忘年会懇親會等をもつた様な内容をもつた催しをせしめ、子供の生活になくてならぬ玩具を中心としてそれを最も教育的に扱ひ、なほ玩具に對する幼兒らしい感謝の念、愛護の心持を養ひたいといふので御座います。なほ是を機會としてその前後の生活が保育過程として充分意義があり、又家庭と協力して保育の内容を豊かにする處に面白味があると思ひます。(十二月十九日)

寒いのにお室には玩具が並び出したので、幼兒は火鉢にも行かず嬉しさうに語りあつてゐる。次から次へと玩具を持つて説明にくる。今日は昨日より一層増して色々のものが飾られた。保姆は幼兒と個人的に玩具について話をする時はかなりに

迄發表するのと同圓形になつて一人一人玩具についての説明をさせてみると、

殆ど斷片的な一言で次々に補つて初めて意が通づる位である。それが幼兒として又當然の事と思ふ。従て心して母親の認めてくれた手紙の處々をよんでその幼兒の説明の補ひとする處に又一層親しみが起るのである。

Yちゃんのお話。「あのね僕、これお母様が松屋で買つて下さつたの。」

「ええ、それで足が片方とれたの。」「そして僕一しよにねたの。」

Yちゃんのお母様の御手紙。

「前略御存じの通り亂暴者として電車も汽車も大抵の物はそばからこはしてしまひ、本等は買つた時ばかり大さはぎしてもすぐあきて投げ出してしまひますので、別に是と申上る物が御座いませんが、一つ男の子にあはないものを持つて遊ん

だ事が御座いました。それは御覽に入れた人形で、
是はたしか四つの時松屋へ買物に参りました時、
頻りに買ひたがりましてので買つてやりました。
その當時可愛がつて寝る時は枕を並べた事も二日
や三日では御座いませんでした。大分たつてから
も姉さん達の昔遊んだ人形の着物等古い風呂敷包
から出して着せたりして、女中に笑はれた事も度
度でした。然し近頃はすつかり玩具戸棚にはふり
込まれ、おまけにいつの間にか足も一本なくされ
て誠にあはれな有様で御座います。

こんな見る影もない人形ですがYには思出深い
物で、今の様ながさつ者が一二年前にはこのお人
形をもつて一人ておとなしく遊んでゐた事を御想
像下さいませ。昨夜是を出しましたら『もつてい
かなくてもいゝや』と恥しい顔附でしたが自分で
さつさと紙に包んでゐましたことを笑はないでや
つて下さいませ。後略。(其他の手紙略す)

今日は五人が一人て出て説明した後、裝飾贈り
物等の製作にはいる。H達五六人はヒルの積木で
遊戯室に門を作り、I子達は入口にアーチを作り
初め、一年の子供達は「クリスマスツリー」の裝飾
にとりかゝつた。午後も引續き仕度に熱心であつ
た。(終)

(十二月二十二日)

幼児兒童の待ちに待つた玩具祭りも今日となつ
た。略、例によりプログラムは兒童幼兒に順にか
かせ周圍の裝飾の繪も幼兒にせしめ十時から會は
開かれた。

プログラム

- 一、ハジメノアイサツ ミチヲ
- 二、トイシンホニー(蓄音機)
- 三、オモチヤノゴテン センセイ
- 四、オモチヤノマーチ(唱) ゼンタイ
- 五、オハナシ ジュン

六、ドクシヨウ

ナカバヤシ

七、ホンヨミ

タカギ

八、ユフギ

ミシマ

九、オハナシ

センセイ

十、オヤコノズズメ(話遊)

一ノクミセニン

十一、シヨウカ

一ノクミゼンタイ

十二、エ(板畫)

カトウ

十三、ドクシヨウ

センセイ

十四、ユウギ

二ノクミ

十五、アライメノニンギョウ

アカシ

十六、クマノオウチ(話遊び)

五人

十七、シヨウカ

一ネン

十八、フシギノフエ(タイワ)

センセイ

十九、フクビキ

トシコ

二十、ヲハリノアイサツ

トシコ

(以下省略)

なほ是等の前後の取扱ひに就て、まだ色々申上

度い事がありますが、餘り長くなりまますので略す
事といたします。是だけでは如何に子供も保母も
家庭の人も楽しく何もかも打忘れて遊んだか、又
いかに此の十二月の後半を意義のある保育として
送つたかは書き表はされませんが、私共の生活日
誌の説明の一端とし又何かの御参考になりました
ら嬉しい事と存じます。

生徒募集

本科 一ケ年卒業

托兒科 一ケ年卒業

研究科 一ケ年卒業

昭和三年四月十日始業

右生徒募集す

詳細は左記へ問合せらるべし

東京市外中高井戸町字南一三三

玉成保母養成所



童謠遊戯について

戸 倉 ハ ル

一、本質

最近の教育思潮はすべて子供を能動的に取扱ふやうになつてをりますが、これはいろ／＼な方面から子供を研究した結果子供の本質が自動的であるからみだりに他から動かすべきものでもなし、また動かされるのを好まないところから來たものであると思はれます。

子供はなか／＼詩人であり、藝術家であります。子供はよく歌い、またよく踊ります。あの無邪氣に歌い、且つ輕快に踊るのを見てをると全くそれが一つの劇となつてをります。子供は大へん劇を好みます。さうしていろ／＼な真似をしてあらゆるものを劇化してをります。これはこの時代に現

はれます一つの本能であつて、それに依つて自己表現と自己訓練とを自然にしてまゐります。この有動性、活動性を傷けないで、なほよりよく伸ばしていくところに眞の教育的使命があるだらうと考へられます。

近ごろ學校劇とか、唱歌劇、さては童謠劇と申して盛んに行はれてをりますが、これは子供の本質に着目して出發した結果であります。

人間は歡べば手の舞ひ、足の踏むところを知らずなど申しますが、よく手足を動かして踊ります。これは歡びに伴ふ身體的變化で、最も自然的な表情であります。とにかく歌はずにはをられないし、踊らずにはをられないものであります。さ

うして歌ふとすれば其のリズムに伴つた運動が起つて來ます。つまり童謡と共に踊るといふ一つの運動が伴つて來るのであります。かうした自然の踊りを整理指導して、正しい運動にまで導いたものが即ち童謡遊戯であります。

更らに言葉を換へて申しますれば、童謡は純な子供の自然觀照から産み出された一つの詩であるとするならば、童謡遊戯は、その純な詩に依つて意味づけられた、一つの物語であると見て差支へありません。

要するに童謡遊戯の本質は子供の模倣的本能を土臺とし、自然的發表動作を基礎として作り出されたものでありまして、これに依つて子供の創造本能や、藝術的衝動を適當に誘導し、かたはら童謡に現はれた子供の豊かな感情や、活きた欲望、萬物に對する敏感性などをそのまゝ伸ばしていくのであります。

二、題材

題材の選擇について、最も必要な條件は、第一それが子供の經驗界に觸れてゐるか否かであります。まだ經驗したこともなく、教へられても想像も及ばないやうなものは子供の興味を惹き起すことが出来ませんから不適當であります。例へば大都會に生れた者が農事の狀況を話しても分からなしいし、僻地に育つたものが、目まぐるしい都會の狀態を解しないと同じこととあります。其の他平野のものが山を見ず、山地のものが海を知らないのも同じ類であります。同一の題材同一の動作でも、或る地方には適し、或る地方の子供には全く想像だに及ばないで、興味の無いものとなることがあります。このやうに題材の範圍も大に狭くなつてまゐりますが、然し子供の思想外にあるものでも容易に理解し得るものは、差支へないばかりでなく、却て智を磨き、徳を進むる上に利益が多

いのであります。

次にどんな種類の題材が子供に興味があるてせうか。蓋し、自然界の現象は一般に子供に取つては奇妙の感を持たせるものであります。例へば雨雪、日月、山河等は比較的興味のある題材だし、又動物などに對しては、これを自分と同等のものとして、交際するのでありますから、日常親しくしてをる鳥獸魚類等は一層興味深い題材であります。其の他植物については、其の花葉の美しいところが子供の面白く感ずるものでありますから、これを適當に現はしたのも亦好むところであります。尙ほいろ／＼な人事的關係を現はしたものの例へば物語の歌とか、汽車、汽船、水車、風車などの様に日々に觀察してゐるものも多くは取つてもつて好い題材と見て結構であります。

要するに子供の環境に依つて觀察經驗すること
が違つてまゐりますから、教師は土地の狀況、天

候、氣候の關係、子供の發達狀態等を顧みた上適當に題材を選ばなければなりません。

三、樂曲

童謠と曲とは唇齒以上に密接な關係をもつてをりまして、互に相容れなければなりません。すべて童謠に限らず唱歌の類が人心を捕へるのは、其の歌の内容よりは曲に依る方が多いといふことはどなたも認むるところでありませう。童謠の曲を聽いてゐるうちに獨りて子供が歌いだし、また、踊り出すやうでなければなりません。近ごろ童謠の曲譜が雑誌に見えたり、又曲譜集に現はれたりしますが、これは子供に取つて喜ばしい現象であります。今後ますます研究していたゞいて本當によい子供の心性に觸れた曲譜がどん／＼刊行されるやう祈つてをります。私は作曲法なんかわかりませんから批評などは申し上げ兼ねますが、童謠遊戲實施の上から次のやうなことを考へてをりま

す。

(イ) 音域

音域は狭小なもので、高低度を越さず、極めて簡単なものが望ましい。

(ロ) 拍子

拍子は二拍子が最も適當で、四拍子これに次ぎ、其の他の拍子はあまり六つかし過ぎて不適當であります。

(ハ) 旋律

子供の趣味に合つた、同一の旋律の反覆から出來てをる單純なもの、然も輕快で活潑な意氣を鼓舞するものが適當であります。大人の感情に適するからといつて、これを子供に用ゐるのは大によろしくないことあります。

キンダーブック

キンダーブックが發刊せられたことを祝します。從來の子供繪本と異り面白い點が多くあるやうに思はれます。多くの繪本に見受ける缺點、幼兒には見聞させたくないやうな内容を持つてゐないことだけでも誠に喜ばしいことですが、更に幼兒の教育を十分に考慮して教育的價値を十分に發揮した苦心が多く見えます。従つて家庭に於ても幼稚園に於ても幼兒に見せる繪本として推賞することが出来るものと思ひます。尙ほ普通の子供雜誌と異り月を争ふものでないことも子供繪本としてよい點だと思ひます。

(フレールベル館發行 定價五十錢)



私の幼稚園

水島 さゆり

猫の巻

園長縁側で新聞を讀んでゐる。時雄傍の小さなちやぶ臺に寄つて、しきりに繪をかいてゐる。小春の陽にいつくしまれて、縁先のちつぽけな躑躅が、赤い蕾をちよこんくくと三つ出してゐる。

園長時雄の繪を覗いて見る。蓄音機ピクターの廣告—犬がレコードから出る妙音に感じ入つてゐる繪の敷寫が進行してゐる。犬の顔が薩摩芋のやう。園長をかしさを怵へて、眼を新聞に移す。

時雄「水島さん、犬はほんとに蓄音機が好き？」
園長「好きですとも、ほう此の犬だつて好きです
たまらないから、こんなに聽いてゐるんです

よ。

時雄「ちや猫は？」

園長「猫？さあ、やつぱり好きでせうね。」

時雄「水島さん、あそこにトラ公が寝てゐるよ。」

鍵の手になつた三疊の板庇の上で、トラ公が暖い陽の光を占領して、紫外線を全身に浴び、心地よげに眠つてゐる。園長バンバンと手を拍つ。トラ公氣附かずに居る。園長大きく、「トラ公」と呼ぶ。トラ公頭を擡げてこちらを視る。

園長「時雄さん、トラ公に何か歌つて聽かせませう。」

時雄「蓄音機をやるといふね。」

園長「さうね、今蓄音機がないから、時雄さんの

歌がいのよ。」

時雄「うん、何がいの？」

園長「しやぼん玉がいでせう。」

時雄しやぼん玉を歌ひ出す。

しやぼん玉飛んだ、屋根まで飛んだ、屋根ま

で飛んで、こはれて消えた。風々吹くな、し

やぼん玉飛ばそ。」

トラ公頭を下げて眠つてしまふ。

時雄「だめだよ、ちつとも聴いてないんだもの。」

園長「ようし、ぢやあ水島さんが歌つてみやう

ね。」

園長軒先の物干竿の先で、板庇の裏をトントン

と軽くたくく。トラ公驚いて頭を上げる。園長も

もむろに、シユーベルトの子守唄を歌ひ出す。

ねむれー ねむれー

トラ公げんさうな顔をする。

屋根のうらへーにー

こゝまで歌つてトラ公の顔色に注意して見る。

トラ公ウフンと言つて、青天井を向いてしまふ。

これはいけない、今度はと、「からたちの花」を

歌ひ出す。

からたちの花が咲いたようー

とやつて見る。感じない様だ。

からたちの實は黄いろだよー

とやつたが、まだ感じない。一段と咽喉を柔くし

て、

からたちのそばで泣いたようー

とやると、大きな口を開け、八方へつん出た髭の

先を踊らせて、アツハハハハハと哄笑したやう

だ。

園長むつとする。ちやぶ臺の上に在る時雄の椿

の實を一つ採るや否や、トラ公目がけて投げつけ

た。ボンと板庇を打つて跳ね返つて来る。チエツ

今度は柄杓手洗鉢の水をすくつて、ざんぶとひつ

かける。水は日光にきらめき、拋物線を描いて屋根を濡らす。

トラ公不精無性立上つて、「お活潑ぢやて、わたしや若いんだがね、おめえ様だよ冷水に御用心は」とばかり、のそり／＼歩いて行く。園長くやしがる。

園長「トラ公はだめ／＼。もう絶交だ。」

書齋から友人名簿を持出して来て、

「北隣おきせ婆さん愛猫トラ公」

とある上へ、萬年筆で太い棒を何本も引ばつてしまふ。

時雄「水島さん、どうする。」

園長「トラ公ともう遊ばないのよ。もう日向ぼつ

こさせてやらないの。」

時雄「なぜ？トラ公が困るぢやあないの？トラ公

は此の屋根が一番好きだから。」

園長「いけない／＼、トラ公はわるいから、今度

來たらバケツの水をぶつかけるのよ。」

時雄「可哀さうだね。」

園長硯箱と半紙を持出して来る。

オマヘハ ワタシノウタヲ キカナイカラ

モウオトモダチデアアリマセン。

トラコウ

エンチャウ

と認める。時雄拾ひ讀をする。

園長「時雄さん、これトラ公に持つて行つて、讀

んでやつて下さい。」

時雄「いやだなあ、トラ公をいぢめるんだもの。」

園長「トラ公がいけないですよ。さあ持つて行

つて、讀んでやつて。」

時雄「いや」

園長「ぢや此處へ貼出して置きませう。」

園長半紙を三疊の障子の表へ貼出して置く。

* * * * *

園長「時雄さん、唯今。」

時雄「お歸りなさい。」

園長「面白い雑誌を借りて來ましたよ。讀むから
しらつしやあい。」

時雄「ああん、いゝな、いゝな。」

園長のうちの茶の間、二人火鉢の側へ寄つて坐
る。

園長「ね、動物と音楽つて言ふ所を讀みますよ。」

時雄「英語なんかわからないよ。」

園長「日本語に直して讀みますよ。さあ聽いてら
つしやい。」

園長ほがらかな聲で讀出す。

此の間ニューヨークの動物園で、動物に音楽を
聞かせました。六十何人もの大勢の人が樂隊を
やつたのです。一番始めは、ツウステップと言
ふ、踊を踊る時の樂隊でした。

此の大變な樂隊を、象も聽きました。ライオン
も聽きました。狼も聽きました。虎も聽きまし
た。熊も聽きました。皆さん、之等の猛獸が樂
隊を聽いてどうしたと思ひますか。象と言ふ

と、あの長い鼻を、ぶらり／＼振つて、のつそ
／＼と歩き廻りました。歩き廻つてゐるうち
に、あのちいぢやいお眼々から、ポタリ／＼と
涙を出しました。象クンは可愛いね。

今度はライオン。牡のライオンが二匹、どちら
も肉の塊を食べかけてゐましたが、チララ、チ
ララと大へん面白い樂隊が始まると、食べるの
を止めてしまひました。そして、ぢいつと聽い
てゐました。

狼と虎は、あまりいゝ音がするので、眼をつぶ
つてしまひました。そしていゝ心持になつてし
まひました。

熊サンは後の足で立あがつて、ビヨコボン、テ
ララ、ビヨコボン、チララと踊り出しました。
樂隊が今度はシユトラスのワルツと言ふ、これ
も踊りを踊る時のをやり出しました。チララン、
チラランと大層愉快な樂隊です。あまり氣持の
よい樂隊を聞いたので、熊サンが眠つてしまひ
ました。虎も眠つてしまひました。狼も眠つて

園兒の體育

五四

宮田覺造

最近體育といふ言葉が民衆化されたことは誠に喜ぶべき現象である。個人にも團體生活である學校にも、一般民衆の間にも身體運動を通じて教育が考へられつゝある。我が國民の間ばかりでなく平和主義の列強國の間にも民族發展の上に體育を重視して來るべき軍國主義の道程へと終始努力されてゐることは國民體力の充實を計る爲である。平和主義の國家政策が國民體力充實に着目され、暗々裡に民族發展を要望して假裝的の平和主義と考へる點は無いでもないが、歸する所は國民體力體位の向上であつて、民族發展の第一義であるといふ事は争ふべからざる事實である。

列強國が競ふて體育の民衆化に最善の努力を拂

つて居ることは、眞の體育充實の道を通つて居るであらうか。列強はいざ知らず、少くとも我が國民の間に流れて居る體育に對する内容を考へて見たならば、偏見であり偏重であると自ら反省せざるを得ない。

體育は身體の修練のみで所要の目的を到達する事は出來ぬ。身體運動即ち體育といふことが體育の全野の如く考へらるゝならば我が國民の將來にとつて憂ふべき現象をとり殘すことではなからうか。眞の體育勵行の道に、國民が目覺めなかつたならば先進國である列強に平和といふ二字の假面に大なる敗を招くことではなからうかと考へる。

眞の體育の道に國民が精進し、植ゑつけられた

國民の缺陷を改善し社會も學校も家庭も一致協力して國家百年の礎を築かねばならぬ。

△眞の體育は

身體の教育は運動と食物及び休養との三つが整ふて指導されなければならぬ。何れが重要であるかと考へる時には鼎の輕重を問ふ如きもので、我國民の生活から見て何れも重要なものである。何れが主で何れが副となるべきものではない。

我々は動物であり又人間である。眞に體力の旺盛な身體の所有者とならんとしたならば生れ落つると共にこの三者は相共に適切なる指導をしなければ完全なる發達を遂ぐる事が出来ない。一般家庭に於ても學校に於ても、將又社會の現状から見て眞に指導をし教育をせねばならぬと考へることは食物及び休養に關する問題である。身體運動に對する最近の傾向は健實なる道を進みつゝあるかと考へる時は正しき發達を遂げて居るとは云

へないけれども、兎に角身體練習と云ふ事が自己の健康を増進して行くことに大切なものであるといふことは體育といふ流行的熟語の爲に考へられつゝある。併しながら食物の指導はどうであらうか。休息に對する國民生活はどうであらうかの二つの問題は身體の教育にとつて我國の現状から考へて見たならば急の急なるものであると信ずる。殊に幼兒の教育に對しては一層健全なる發育を遂げしむる人間初期の教育として考へなければならぬ。

食物の指導は家庭の指導も大切であるが學校に於ける食物の教育は一層重要である。現時に於ける學校教育では家庭に一任すか或は各自の望むがまゝに任せ置く傾向があることは遺憾に堪えないのである。幼兒は自己の活動に對して満足し得る食物を毎日の食事として居るか。發達進歩の著しい時代に於ける榮養分を攝取して居るか。

甚だ疑はしいばかりでなく學校生活を通じて家庭生活に於ける食物の改善を計らねばなるまい。

食物は發育率の最も旺盛なる時期に於ては一層完全なるものを攝らねばならぬことは明かである。今後に於ける園兒教育に對してこの點に着目され身體運動と共に完全ならしむるやう努めなければならぬ。

次に休息の事であるが吾人の休息は、睡眠が第一義で、睡眠に對する國民の思想は至つて冷淡なものが多い、甚だしきに至つては、自己の睡眠を他人に妨害されて而も、平然として居る傾向が見える。睡眠は活動の源泉であり、自己身體の養護である。大なる活動を欲し充分の發育を遂げんとしたならば充分の睡眠を要するものである。學校に於て睡眠に對する指導は眞に考へもし又指導もして居るだらうか。恐らく手をつけてゐない部分ではなからうかと察せられる、幼兒の完全なる發

育を遂げしむるならば學校に於て適切なる施設と家庭へ計畫的の要望が無ければならぬ。この食物及び睡眠の教育は幼兒教育にとつては重要な點であると信ずる。

身體運動に對して日々の計畫は完全であるとは云へ得ないけれども一般社會の風潮につけ學術的根據の下にそれ／＼考へて居られることではあるがこの事柄と共に食物に對する教育を施し休息及睡眠に對しての指導を完全にすることが眞の體育の勵行であり健全な發育を遂げしむべき身體教育であらうと信ずる。

△日常生活消毒豫防治療の勵行もあり度い身體の健全を保つ上には日常生活に於ける衛生の勵行を計り身體教育を意義あらしめなければならぬ、我國に於ける國民生活の現狀は、清潔な生活とは云ふ事は出來ぬ、學校生活に於ても同様である。身體保護の立場から諸外國の實際と比較し

て、衛生に對する勵行を幼兒の教育から習慣づけ基礎づけるといふことが實に大切なることである。實生活を考へて見れば、住居は黴菌の媒介所となり四肢五體は之が運搬者且媒介者となる。共同生活に於て之等の事實は肯定されぬわけには行かない。随つて身體養護の立場から常に自己の身體及び住居の消毒、疾病の豫防及び治療を怠らぬやう習慣づけねばならぬ。

現時に於ける幼兒教育を考へれば之等の施設が完備して居るだらうか又幼兒に習慣づけやうとして努めてゐるであらうか、園兒の毎日の生活に手や顔を洗ふこと鼻汁をとること、齒を磨くこと、痰壺に痰を吐くこと、日光浴をすること、等は是非共指導せねばならぬ事柄である。

以上が體育に關する私の考へてあつて勿論議論のあることは已むを得ないのであるが、要するに眞の體育といふものは之等の事柄を考慮して始め

て完全の域に達することゝ信ずるのである。



コスモス日和

五八

小石

低い門柱、の上に伸びた薔薇のアーチをくぐる

と二百坪に近い庭の中央に、五十坪程の三角形の芝生、まわりには美事に枝の繁つたコスモスが今花ざかり、傍の島には小松菜、ほうれん草、つややかな紫の實をつけた茄子が地味の豊かさを語つてゐる。門の右手の雑木叢には、小鳥のさへづりが、はつきりと、澄んだ朝の梢をわたつてゐる。

「先生、おはよう」

「おはよう、まあ三郎さん早いこと、ひろ子は今起きたばかりよ。」

「僕、一等だ、お父様と一所に出かけたの」「あ、あの電車にお父様のついでいらつしやるかもしれない、先生、あれ東京行きてしよ、むかふへ行

く音がする。」

三郎さんは、急に園舎にかけこんで、窓から首を出し、

「お父様が、幼稚園の電車みえるといゝんだがなア、あ、もう行ちやつた」と獨言てゐる。序にこの園舎の形を説明すると、長さ五間、幅二間で室は、ピアノのある所三坪と遊ぶ室九坪とて、兩室の境は丁度電車の、運轉臺と乗客の席のある所との様な具合で、椅子や机は、はめ板から持ち出せるようになつてゐる。外觀は。ポールと車輪が無いだけで、屋根といひ、窓といひ、完全に、省線電車そのまゝあざやかな横の赤線の所には、汽車の等級、電車の方向の様に、白色で「幼稚園」

と記してある。實際巴幼稚園といふより、電車の幼稚園と云た方が近所の人達にはよく解る位である。「先生」は園長兼保母で、四歳になる、ひろ子ちゃんとMさん(女中)と三人、この電車型保育室に附屬した保母住宅に、あけくれを過して、他の十三名の園児に家庭的な親身の教育をして居られる。三郎さんと他三、四人は、塵をしいて垣根のそばで、一心に朝顔の種子を取てゐる。其の内Y子さん、Sちゃんと追々集つた頃、割烹着で、きりつと身ごしらへをした、先生は、何やら新聞紙包と美しい花の繪を持て來られた、新聞紙の中からは丸々と肥た球根が出た。

「先生、これチウリツツでせう、お家のお兄様も昨日おうちになつたのよ」

元氣のいゝ男の子達は、もう手に／＼シャベルを持って來て、

「どこへ植ゑるの、此處？」

「コスモスとコスモスの間にしませう、一寸此處へいらつしやいな、こうして突つた方を上にひけて、そつと土をかけないと、大事なお花が中から出られなくなつてしまひますよ」

「先生、見て頂戴、これでいゝの？」

「僕のはもう少し、芽が出た處」

「それぢやあ、白(犬)がふみそうだから、も少し土をかけて置きませう」

球根が植ゑられて、おかたづけ、がすみ、しばらく、素足で徒競走や躍びつこが、すんだ後、一同は塵の上で、ミルクとカルケツトのおやつをいたゞいた。やがて、いなごを獲りに行く相談が出來て古新聞で、袋作りがはじまつた、大小とり／＼に出來た、袋を持て一同は、おばさんと近くの田に行く。弓形の天空、かゞやかしい秋の陽の光、どこかの梢に、百鳥がないてゐる、黄の濃淡で彩られた田面、ひろ／＼と目も遙かにつゞく。ゆた

かな、武蔵野の景色！峠道を追はれるのが、いなかか、追ふのがそれか、鋭い鐘の響も、耳に迫る集團のざわめきもなす。

手に／＼獲物をさげて一同が歸て来た時、晝食の用意が出来てゐた——といふのは昨日皆で取た畑の小松菜をMさん(女中)が、おしたしに作て下さつたのである——テーブルをかこんで楽しいお辨當、自分達で種を蒔き自分達で水をやり、とり入れた野菜、味覺の問題ではなく、美味しいらしい、子等の頬はりんごの様だ。食後一同は棟つききの、先生のお室に行て、二十分前後のお午睡をする、押入があり、箆筒がある、疊のお室、それはどんなにか子供達に、アットホームな感じをさせるのかお母様のお室で、あまへるような心持になるらしい、それに存分な午前の運動は、あまり無理でなく子供を夢の國に誘ふらしい。

「よくお静かにお午睡が出来ますね、林間學校な

どで、試みても、大方は睡れないで、身體だけ横にして、仕方なしに本を讀んだりしてゐるさうですが」

といふ問ひに對して、先生は、

「はじめは、私もどうかと案じましたが、澤山運動して、たつぷり食事をとれば生理上からも自然に、また小人數といふ事が幸してか、あまり無理を感じませんでした、雨の日など運動の少し足りない時は、お嘶でも讀みますと、喜んで聞きながら何時か睡てしまひます。」

と、午睡のあとの子等の元氣は又一入で、滑臺にブランコに芝生の上のお角力に、畑のいんぎんとつたり、胡瓜をもちで後前を切り、ほんとうのお漬物をしたりする、勿論先生が一所にされるのだが、それが翌日のお晝のテーブルに乘たりするさうである。主義主張のみでない、生活即教育の實際が此處に見られる。教室の講義でもなく、春

の野の夢でもなく、机上の空想でもない。實際の幼稚園である。

「今何々の時間だから、どうしても何々をせよ」てはないのである、描き度い氣持になつた時、紙を要求してクレイヨンを持つ、その手はほとばしるような線を描く。

二時になると、おかたづけやお歸りのお仕度がはじまる、

「先生さようなら」

大方は近所のお家なので、一度歸宅してまたおき芝生へ、滑り臺へ、遊びに来て、日の傾くまで遊ぶこともあるさうだ。

「産みの苦しみ」とは字に書くやうな容易な事ではない、どんな些少の事にも大きな言葉に出来ない、大きな努力が盡される。まして永計畫の第一歩にある、巴幼稚園は今、經營に於て創設の苦闘時代である、それだけ保育に於て、生命と、

眞實に充ちてゐる、それをひろい豊かな自然が圍んでゐる。恵まれた子等のこの朝夕!! (十月十日 武藏吉祥寺に巴幼稚園を訪ひて)

灰の如き記憶たゞあり年暮るゝ

虚子

大年の我顔惜む鏡かな

句佛

赤い帽子

こんもり茂つた小山と小山の間の緑の凹地の真中に小さい家がたつた一軒あつてそこに小さなお婆さんがたつた一人て住んでゐました。或秋の日の事でした。お婆さんが頭のとつべんから足の爪先まで、まつしろななりをして古ぼけた小さな椅子にかけて澤山の羽毛を集めて赤い帽子をこさへてゐました。お婆さんは大變見え坊でした。かねてからすてきな帽子が一つ欲しくて堪りませんでしたので赤い／＼真赤な帽子をこさへようと思ひました。まつかに火の燃えてゐる爐の前で一生懸命仕事をしてゐますと何だか戸を敲く様な音がします。そつと／＼、

「一體だれかしら」と思ひましたが仕事の手をや

すめ様ともしないし、又

「さあ／＼お入り」とさへもいひませんでした。

「旅の者です、腹が空いてへト／＼です」

「フーム、それはお氣毒様、でもそつちがどんなに腹が空いて仆れたつて私は知らないよ」

木枯の寒い風に吹きさらされて今にも仆れ相になつてゐる憐れな旅人の事はすつかり忘れてセツセと手を動かしてたゞ戸をコツ／＼と敲く音だけを聞いてゐました。

「なぜコツ／＼と敲くのかい」とかんだかい聲でいひました。

「だつてお腹が空いてゐるんですもの、パンを一片下さいな」お婆さんは何喰はぬ顔して窓からさし

A B C

込む太陽でキラ／＼光つてゐる井の水に今仕立てたばかりの赤い帽子をかぶつてどんなに似合ふか一生懸命うつしてゐます、成程白い着物に赤い帽子！なんとうつりのよい事てせう。ほんとに見る眼もきれいでしたが顔は慾と意地悪さでつつばつてゐました。

「後生です。どうか一片のパンを下さいね。たつた一片でいゝから」とあはれな聲で尙も戸をコツ／＼敲きながらたのんでゐます。お婆さんはしまひにうるさくなつて來ました。仕事の手をやすめてブツ／＼いひながらパンをむしつてフライパンの中へ一片投げ込んで火にかけました。それがすむと又羽毛を取つて帽子をこさへ始めました、そして今度は眞向に、次は横向に、という／＼工夫をこらして赤い帽子を水鏡に映して得意がつてゐました、あんまり夢中になつてゐたのでパンはその中にこげて眞黒こげになつてしまひました、さ

あ、大變！お室中眞黒な脂臭い煙で一杯で居た、まれません、その時突然又コツ／＼と敲く音に氣がつかました。

「お婆さんパンは焼けましたか」

「眞黒こげになつちまつた、おかげ様で私の大事な眞白い着物も前掛も煙で黒くなつてしまつた、とどなりました。

「お婆さん／＼一生あんたは眞白い着物はさられませんぞ、あんたの着物はいつも半分鼠色です。これをきいて流石のお婆さんも聲をあげて「アーン／＼」となき出しました。

「お婆さん／＼、お腹を空かせて待つてゐるこの私に下さるパンを氣をつけないばかりにこがしてしまつたから一生パンは喰べられませんよ、虫をその代り喰べるんです」。

お婆さんは又アーン／＼と泣きました。

「疲れてゐる旅人の敲く音をきいてくれなかつた

からその罰に一生朝から晩までたゝかねばなりませんよ！」

「旅で疲れてゐるこの私を中に入れて休ませて下さらなかつたからその罰におまへもおまへの家族も皆家には住めませんよ。木の穴に住むのです」

といひ終つたかと思ふと小さな家の東側の壁がバタリと落ちました、お婆さんはこれを見てアーン／＼と泣き崩れてしまひました、そうしてゐる中に西側が落ち續いて南も北も皆落ちてしまひました、まあ、お婆さんはどんなに金切聲張り上げて泣いた事でせう。

半白の着物の裾をつまんでお婆さんは一番近くにある木の穴へ飛んで行きました、小さな家のあつた跡には今は青い苔がはえてたゞ腐れた柱などの皮が残つてゐるばかりです、でもお婆さんは赤い帽子だけは大切に持ち出しましたので今でも頭にかぶつてゐます。

みなさん森に澤山ゐる啄木鳥をごらんになりますと成程とすべてが御分りになるでせう、何故半分鼠で半分白の上衣をきてゐるか何故バンを喰べずに虫を喰べてゐるか、一日中何故コツ／＼とかたい木をつゝついてゐるか、又木の中の穴に住んでゐるか夜も晝も赤い帽子をかぶつてゐるか御判りてせう。

(マルタ、ヤング作)



聯合保育會に出席して

大阪市保育會會員 大塚喜一

第三十四回京阪神聯合保育會に出席して、其印象新なる間にいさゝか所感を述べて諸賢の御參考に資したいと思ふ。

先づ本會開催前より思つてゐた事であるが、本會に提出せらるゝ問題は豫め之に就て研究し調査して豫備智識を持つて出席し得らるゝ様、會の開催より餘程以前に通告せられたきものである。何しろ一年に一度の會合であり、従て問題が多數集り、一題に與へらるゝ時間が縮小せられる。

此短時間内にて充實せる研究効果を收むには充分なる準備を要する。それには本誌を利用して此誌上に於て次回の聯合會に提出の問題及之に就ての必要なる説明を知つて置きたいと思ふ。此方法

は當日單時間内に於て豊富なる資料を提供せられし研究發表には最も適當と思はれる。凡そ研究は不斷の事業である故、研究題談話題等の意見の交換發表は繼續的に常に本誌誌上に於てせられ、讀む者をして誌上の聯合保育會に出席するの感あらしむる迄本誌を賑はせられし事を希望するのである。

次に「幼児教育上改良を要すべき點如何」への私見として、「自由遊戯時間の充分なる利用」を提言したい。大正十三年夏、倉橋教授御講述の「幼児教育原論」に説かれたる如く、幼稚園の保育科目は何れも内容として自由遊戯の中に含まれて居るものである。幼児の組別の問題に就ての御意見の中に、「自由遊戯の自發的集團より自然に通常の一齊保育に導き入るゝ」旨を述べられたのは、小生の最も聽きたく思ひ更に實際に就ての詳細を知りたく望んだ所である。

幼稚園の自由遊の時間、殊に朝の時間は其幼稚園の實力とも稱すべく、保育の實際に深き御經驗御體驗を有せらるゝ保姆諸賢は、幼兒の自由遊中に、相互又は保姆と幼兒との相互作用の中に、幼稚園の内容の本體、換言すれば、「これが幼稚園だ」とも云ふべき何物かが嚴然として現はれてゐるのを觀取せらるゝであらうと思ふ。此問題は保育の具象的實際に就て、思ふて行ひ行ひて又思ふといふ様に、

知行合一的又は知行綜合的に進まねばならぬから、それには永き時日を要する。若し幸に諸賢の御賛同を得るならば、之を次回の聯合會への提出題として、今から一年がかりて研究と實行とをしてみたいと思ふ。

次に「幼稚園と小學校との連絡」に就て、出題者の主旨には副ひ難いかも知れぬが側面觀的な私見を述べたいと思ふ。智育方面に於て兩者間の實際

上の連絡の困難なるは當日述べられたる如くてあるが、これは幼兒教育の權威を指示する本質的部分としての「善良なる性情の涵養」に着眼すれば、此方面の憂慮は餘程緩和さるゝであらうと思ふ。

性格陶冶に於ける吾人保育者が幼兒への薰育は、來るべき幼兒の將來の生活の基礎であり、これは小學校教育が不幸にして或缺陷短所を伴ふ事ある場合にも其弊の及び得ざる所である。寧ろ小學校教育の根底を固むると云ふ意味に於て連絡上注目すべきであらう。前に力説せる自由遊戯の不知不識の間に於て、暖かなる保姆の愛育を受けて或は次第に幼稚園の生活に馴れ、又は或る性格上の發育不良の點や缺陷が薰化せらるゝ幼兒は如何に幸であらうか。小生自らが其一例なるを思ふ時、幼時に愛撫を受けし先生に對して感謝の念を禁じ得ない次第である。

(昭和二、一一、二五)

雜 錄

群馬縣保育大會の概況

高崎第二幼稚園

十月二十二日、當幼稚園で、群馬縣下の保育大會

昭和二年十月二十二日(土) 高崎第二幼稚園

一、時間區分

會 集	9.30
室 内 保 育	10
自 由 遊 戲	30
露 天 保 育	11
らな様左	

(實際)

- 開始の合圖と共に幼児は保姆に導かれ順次會集室に入る。
- 敬禮の後選まれた三児が人形の家から三人のお人形を抱いて來る(一同拍手歡迎)
- 會集の歌、次に人形歡迎の歌あり。
- ついで岡田園長の「花子と三疋の熊」のお話あり。
- それより「お日さまのぼる」外二三の表情遊戯を行ひ、
- 人形を送る。(此際再拍手)

二、豫 定

(一)會集

1. 順次會集室に入る
2. お人形さんを迎へる(毎月一回其他臨時)
3. 朝のあいさつ
4. おはなし
5. お遊戯

6. お人形さんを送る

7. 順次會集室を退く

(二) 室内保育

(松之組) 四十三人

(甲) 自由手技……(石田保姆)

(乙) 描き方……

(竹之組) ……四十二人

(乙) 描き方……

(樋口保姆)

○會集を終り順次會集室を出て各組の保育室に入る

○一組(松)だけ居残りて遊戯をついける

○幼兒の希望により自由手技と描き方との二組に分かる。

(甲)自由手技(會集室及觀案室に於て)……約二十五人

1、砂箱 二組 三人づゝ 六人

2、粘土に行きしもの 六人

3、木工(軍艦製作)をなしたのもの 三人

4、色テープ利用船を作りしもの 四人

5、小黑板によりて繪をかきしもの 五人

6、古繪本を切りぬきて貼畫をなししもの 四人

7、大型積木に行きしもの 四人

(或ものは一つを終へて他に移りしものあり)

(乙)描き方(松之組保育室に於て)

○松之組約十五人外に竹之組より約十人の希望者を募り臨時に乙組を編制す。

○机のなれば方等も一定せず、向ひあふものあり、組を作るものありすべて自由なり。

○多數の標本、玩具其他繪本等ありてこれ等の中より畫題を探すものあり、自由に頭の中より描き出すものあり、保姆は机間を巡

(丙)手技(剪紙)……(佐々木保姆)

視して相談にあづかり且つ指導を加ふ。
○描き終りたるものについては、子供の説明を求め、お互に批評をなし、且つ拍手を送りて賞讃をなす。

(丙)剪紙(竹之組保育室に於て)——竹之組残り全部約三十人

- 色紙二枚づゝ外に繪紙(古繪本利用)を配附す。繪紙にして意に満たぬものは自由に選擇して取かへます。
- 色紙はたゞみで鉄を入れ、かたを切らしむ
- 繪紙は切りぬきて貼装を作らしむ
- 保姆が机間巡視をなして指導すること描き方に同じ

(梅之組)三十三人

手技(粘土細工)……(福島保姆
小林保姆)

梅之組 粘土細工(梅之組保育室に於て)

- 粘土は萬年土(粘土を油にてねりたるもの)を用ふ……粘土板使用
- 最初にリゾール水に浸したる布にて手を拭ひ終りに又同様にす
- 多数の標本及既成の粘土細工等陳列されあり
- 幼児の要求により粘土以外種々の材料(粘土以外のもの)は供給されたり
- 保姆の指導は描き方及剪紙の時に同じ

(三) 自由遊戯

室内保育のすみしもの室外に出て、(又は室内にありて)自由に遊ぶ(鬼ごっこ、輪遊び、シーソー、ぶらんこ、風船あそび、シヤボン玉

吹き、まゝごと遊び)等常によく行はる。

(四) 露天保育(表情遊戯)

1. 鳩ポツポ

2. お月さま

3. 兎

4. 銀々ざら〜

5. 大江山等

樂器(オルガン及隊)に合せて

歌ひ且つ動作を行ふ

(若し雨天のときは室内に於て樂隊行進及二三の遊戯を行ふ)

(五) 左様なら

○室内作業のすみしものより、順次室外に出づ

○運動ゼーリ(同じ草履を子供の数だけ備へつけ共同に使用せしむ)持ち運びに便なるやう一組づゝ箱に入れおく)をはいて三々五々室外に出づ

○此際一人の保母は先きに出て、運動用具等の準用をなし、且つ看護を行ふ

○やがて露天保育は始まる。

ピリ〜の合図で組主任保母を先頭に一列に長蛇の列が作られた

○樂器(オルガン)につれて幼児の樂隊が勇ましく演奏される、松を先頭に竹梅とついで内陣が作られ、お遊戯は始まる。

○鳩ポツポから、銀々ざら〜、大江山と進んで、こゝに露天保育は終る。

○順次室内に入りて休憩す。

○かへりの仕度をなし、「さやうなら」を歌ひ、家に歸る

○保母は門先きまで見送る(終了)

二 岡田園長の説明(經營概覽參照)

一、當園の經營方針について、幼稚園令其他關係法規によるべきは勿論であるが、私共が常に考へて居ることは「小さくかためるな、大きく伸ばせ」といふことである。保育の仕事は、小さな大人をつくるのではなく、大きくなり得る小供を育てるのでなければならぬ。それから躰方の方針としては訓言にも示してあるとほり、第一に自己活動の尊重で、これによつて心身の健全なる發達もなしとげられるのだと思ふ。第二に共同の原則として何をやつてもよいが人の邪魔をしたり、迷惑になることはさげねばならぬ、さらに進んで人と仲よくし、動植物や玩具までも大事にするといふやさしい心情を持たねばならぬ。彼の善良なる性情の涵養もかくして得らるゝことと思ふ。次に保育事項の指導に當りては危險に陥り、若くば他人の妨害とならぬ限りは自由に、愉快に遊ばしめ、歌

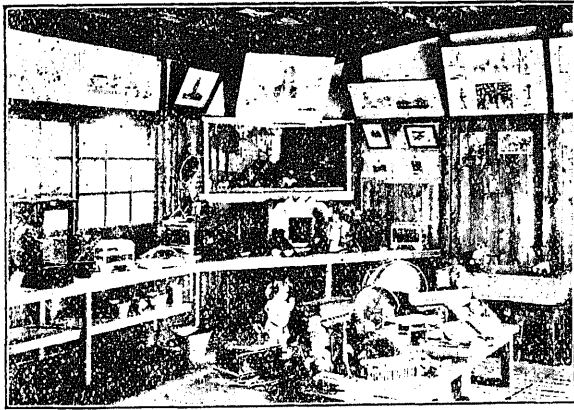
はしめ且つ觀察せしむる等成るべく干涉をさけ共に遊ぶの形式によりて行はるゝやうにしたいと思ふ。

二、施設事項について

- (一) 露天保育 季節にもよるが狭い室内でも遊戯などして居るよりも、戶外青天井の下で温い日光を浴びつゝ自由に馳け廻る方がいくら子供のためによいか知れない。當園は(古い小學校舎を利用したもので廣い遊戯がないからでもあるが)この主意から盛に露天保育を行つて居る。たゞ困ることは出入の混雑と時間のかゝることである。この不便を除くために共用の運動草履を作つた。なほ庭園臺をも作つて露天作業も行ひつゝある。
- (二) 子供の部屋 二間に一間半の狭い部屋ではあるが、全く子供の發意によりて經營したものである。階下の空室、始めは物置きにもと

思つて居たのでしたが、時々子供達がいいつて「まゝごと」をして居るので、これはいつそ

子供の部屋にしてやらうと考へついたのでその始めである。そこで有り合せの疊を入れてやつた。子供達は大喜びでさらに棚を作つてくれと要求して來た。棚は出來た。炊事道具がならべられた。幸に組板のおき場はあつたが、庖刀のおき場に困つて「先生こゝへ庖刀さしを作つて下さい」と要求して來たので、その通りにしてやつた。こんどは家庭から玩具の電話を持つて來る、カレンダー



觀察室の一部（高崎第二幼稚園）

やるといふやうにして、やうやく子供の部屋が出來上つたのである。子供等は毎日嬉々

として炊事やらお客ごとやら、掃除整頓までもやつて居ります。

(三) 觀察室 玄關入口の空室を利用して觀察室を作つた。

寫真はその一部を撮つたものである。當時或る新聞に奇抜な施設として次の記事があつた。「先づ觀察室の一部には動物園があつて獅子や虎や熊などの強い獣から犬猫兎などの動物まで澤山の標本が揃へられて居る山の標本が揃へられて居る水槽には水草の間を金魚などが泳いでゐます。かたつむりや蛙の子などが飼

かと思へば、泳いでゐます。かたつむりや蛙の子などが飼

はれて居た附近には草花が咲いて居、一方寫眞や圖畫なども澤山飾られて、この室は子供

も日に／＼啓發されて行きます。」と、この外に申のべるところはありませぬ。

さん達にとつて博物館、動物園、美術館代用の譯になつてゐます。中にはピアノ、蓄音機、樂隊道具や、大工道具などまで變つたものが澤山ありますが、室外の小鳥室には生きた小鳥が種々飛びまはつて居ます。子供のお部屋へ行くと玩具の電話機や炊事道具などがあつて子供さん達は家族生活のまねをして楽しく嬉しく遊んで居ます。この外自由園の設備なども餘程變つたところがあつて、かうした施設によつて天真爛漫な幼兒等の知識



あめりか人形招待會 (高崎第二幼稚園)

(四) 人形の家及人形招待會 日

米親善の使節として波をこえてはる／＼と來訪されました賓客ミス、ジェーンシヨイス及當國の高崎秀子のために營みましたのが「人形の家」。その落成祝に本市内のあめりか人形すべて八名を招待して去る七月三日に盛なる招待會を催しました。寫眞は當時の光景でありまして、富岳を背景として琵琶の湖水にのぞみ、清楚なる樂園、その名は親善園、中に建てられたのが云ふ迄もなく人形の家です。當日は主客

共に十二分の歡をつくすと共に、園児の上に
さらに一般來觀者に好印象を興へたこと、信
じて居ます。

三、保育の實際について

特殊なる研究題目としては自由手技乃至遊戯の
指導といふことである。一齊的の指導はやすく、
個別的の指導は困難である。しかし自發自由の
活動が最も價値あるものであることは云ふ迄も
ない。だとしたならば如何にせばなし得らるゝ
か、研究題目とならねばならぬ。それには設備
の問題、準備の周到、組人員の數、保姆修養等
が問題となる。本園は此點に向つて着々研究を
進めて居る積り、本日もその一部分は實際の上
にあらはれたことと思ふ。

本日は成るべく平素の通り、自然のまゝといふ
ことにつとめたのであるが、成るべく多くの研
究資料を提供したい考から短かい間に多くの仕

事がひろげられ従つて無理の行つたところも少
くないことと思ふ。

三、批評の大要

1. 會集室にはいつたときはギャ／＼して居つて、
これでどうかと思つたが、仕事が始まつたら
みんな熱心に仕事を始めたので、始めの心配は
消えてしまつた。こゝいらはよい點であつたら
う。
2. 園舎の獨立が望ましい：古い校舎を手入して
つかつた丈に設備上に於て會集室が狭かつた
り、出入口が不完全であつたりすることは遺憾
である。しかし確立した主義の下にせる經營に
於て、却て之を善用した幾多の施設は敬服する
ところである。
3. 會集の時間が長すぎた。腰掛がなかつたにして
は……
4. 何も仕事をしない子供が二三人あつた、何とか

工夫のないものかしら。

5. 全體について今少し休息の時間をあきたい、そして自由に遊ばせたい。

6. 遊戯(表情的動作遊戯)の種目は幼児に選擇させてはいかゞ

7. 觀察室にかゝげた額面はよいが一度にかゝげな
らで一枚づゝふやして行くやうにしてはいかゞ

8. 砂場に水氣が少なかつた。

9. はなみの使用訓練が十分でなかつた。等

以上はその主要なるもの、なほ設備や自由手技等については多數の方から賛成の意見があつたがこゝには省く。

第三十四回京阪神聯合保育會

(昭和二年十一月二十三日午前九時開會)

大阪市久寶尋常小學校に於て會集八百五十餘名

の盛會にて、左の通り舉行された。

一、一同着席

一、唱 歌 君が代

一、開會の辭 大阪市保育會長

一、祝 辭 大阪府知事

一、會務報告 大阪市長

一、議 事

協 議 題

1. 左記事項ヲ其ノ筋ニ建議スルノ件

一、恩給法第九十九條第二項ヲ削除セラレ

度キ事

二、幼稚園保姆年功加俸ノ制ヲ新ニ設ケラ

レ度キ事

三、幼稚園令施行規則第十六條但書ヲ左ノ

通り改メラレ度キ事 京都市保育會

「但シ月俸額ニ付テハ園長及保姆ハ本科

正教員ニ準ス」 大阪市保育會 役員會提出

神戸市保育會

2. 宗教ノ色彩ナキ幼稚園ニ於テ幼兒ノ宗教心

ノ萌芽ヲ如何ニ培フヘキカ

3. 幼兒ノ好奇心ヲソ、ル路傍有害ノ賣物ニ對

シ適當ナル取締方ヲ其ノ筋ニ建議スルノ件

右滿場一致にて可決實行を期す。

名古屋市保育會提出

研究題

1. 觀察料ニ就テノ實況ヲ承リタシ

(説明) 研究方法、取扱法、施設設備等ノ

實際狀況ヲ承リ保育ノ參考資料トナサント

ス

京都市保育會提出

2. 幼兒ノ年齢別ニ依ラサル編制法ノ得失ニ就

テ 大阪市保育會提出

談話題

1. 幼稚園ト小學校トノ連絡ニ就テ實施セラル

ル事項及程度ヲ承リタシ

名古屋市保育會提出

2. 幼兒教育上改良ヲ要スヘキ點如何

吉備保育會提出

3. 新幼稚園令制定カ保育事業ノ普及發達ノ上

ニ如何ナル影響アリタルヤヲ承リタシ

4. 各幼稚園ニ於テ御用ヒニナル玩具(恩物ヲ

含ム)ヲ十種及運動具數種ヲ幼兒ノ好ムモ

ノ ヨリ順々ニ承リタシ(オシタ、メノ上大會

當日御持參ヲ乞フ) 神戸市保育會提出

一、研究發表

1. 塗方ニ就テ 吉備保育會提出

2. 幼兒ノ抽出検査 京都市保育會提出

3. ゴツダード木型板作業ノ時間的分析 神戸市保育會提出

神戸市保育會提出

4. 園藝保育ト田植遊ニ就テ

5. 夏休ミノ心得繪本ニ就テ

一、遊戯交換

- 1. お菓子の汽車
- 2. 白熊の時計
- 3. もうかへらう
- 4. ケーブルカー
- 5. 夕の雀
- 6. 菊遊び
- 7. フクロロ
- 8. とん
- 9. 七ぼ夕

吉備保育會提出

京都市保育會提出

神戸市保育會提出

大阪市保育會提出

大阪市保育會長

一、閉會の辭

以上

本月の會集にて最重要なることは三市役員より緊急動議ありて會名を關西聯合保育會と改稱せられたることなり。

定規文注

告 稟

- 一、幼稚園及び小學校、家庭、育児、看護等に關する論說調査研究等の寄稿を歓迎いたします。
 - 一、寄稿は一行二十六字詰に記して下さい。但改行は一字下げること。また句讀點は一字あけること。
 - 一、寄稿並に本誌の編輯に關する通信、紹介及び寄贈の新刊書、交換雜誌、入會手續、更に
 - 一、本誌の購讀及び廣告に關する通信並に照會等一切左記編輯兼發行所宛に願ひます。
- 東京女子高等師範學校附屬幼稚園内**
- 日本幼稚園協會**
- 一、本誌購讀御希望の方は日本幼稚園協會に御加入下さい居所、氏名を明記し會費前金にて東京女子高等師範學校附屬幼稚園内日本幼稚園協會に御申込下さい。
 - 一、日本幼稚園協會會員外にて本誌御注文の方は凡て前金(郵税共)で願ひます。(郵券代用の場合には總て一割増)
 - 一、御送金の場合なるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
 - 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきて御申越を願ひます。
 - 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に『前金切』の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。
 - 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

告 廣

特等面一頁 金參拾圓
 一等面一頁 金貳拾五圓
 一頁以下御斷
 神田區南甲賀町八品田奥松に御申込下さい

發 行 所

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
日本幼稚園協會
 振替口座東京一七二六六番

不 許 複 製
 禁 轉 載

編輯兼 發行者 堀 七 藏
 東京府豊多摩郡戸塚町大字戸塚五七五
 印刷者 小長谷 勝之助
 東京市牛込區西五軒町五二番地
 印刷所 行政學會印刷所

昭和二年十二月十日印刷
 昭和二年十二月十五日發行
 幼兒の教育 第二十七卷第十一號

價 定

一ヶ月分一冊	金參拾五錢	送料貳錢
半ヶ年分六冊	金貳圓拾錢	送料共
一ヶ年拾貳冊	金四圓貳拾錢	送料共

(外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい)

愈々出たサトウハチロー抒情詩集

抒情詩集 いとしき泣きぼくろ



サトウ・ハチロー著 吉邨二郎装幀

四六判上質紙二百十餘頁朱子製本天金極美裝 最新刊

定價 壹圓六十錢 送料 十二錢

私は、ほんとにやさしい喜びを持って皆さんにこの詩集を捧げます。爪色の雨以後の多くの少女雑誌、婦人雑誌へ発表したものは、みなこの本のなかにあります。その他折にふれ私のやさしい心をうつものがあつたとき書きとめて置いた短唱もすべて入れてあります。

いとしき人に

いとしき泣きぼくろありき

まつ毛をつたふみぞれに

いつも黒くぬれそぼちたりき

私は、この本が一冊でも多く買われて、この本を読んだ人の心のやさしさを育て、くれれば幸ひです。心やさしき人に私は「いとしきなきぼくろ」を捧ぐ。美しき人にはこの詩集を捧げます。

少女讀物白眉

サトウ・ハチロー譯 非水裝幀
世界名詩物語

四六判二百數十頁極美裝
定價壹圓六十錢 送料十二錢

エクト・マロー原著 非水裝幀
片岡鐵兵氏譯
あ、故郷

四六判二百數十頁極美裝
定價壹圓六十錢 送料十二錢

振電 東京 一五〇九四番
電話 三三四 六〇番

文洋社

東京市牛込區
西五軒三丁目四番

御厚禮申上げ候

キンダーブックに就きては各御園共特別の御高配に預り已にく
第一二版は盡きて第三版印刷の盛況であります

御通信に依れば、保姆様を廻らせて下さつたり、母の會にてお勧め下さつたり、豫約者の宿所氏名を御通知下さつたり、或は公立などで直接お金の取扱ひに困るからとて小使さんに扱はせて下さつたり商人にお命じ下さつたり

實に涙ぐまじき御援助之程お禮の申上げ様もありません社員一同
感涙に咽んで居る次第であります第二編以下特に精選致しますか
ら一層の御後援偏に願ひ上げます

株式會社 フレーベル館

社員一同